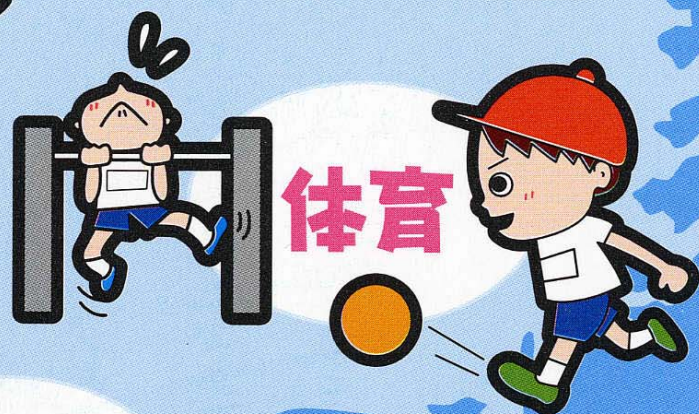
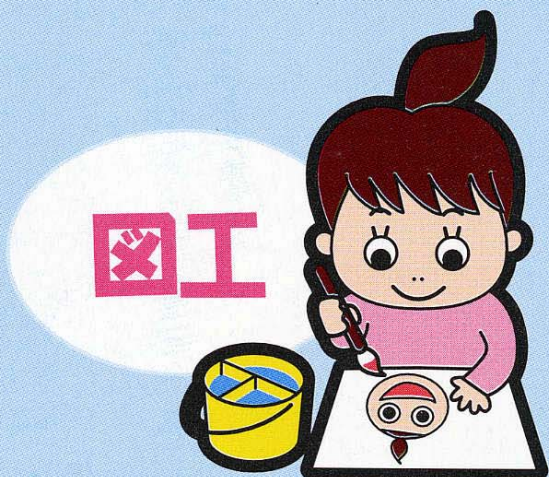


# 岩手の 小規模・複式指導ハンドブック



# もくじ

## 生 活

- Q1 年間指導計画を作成する場合、どのようなことに配慮すればよいでしょうか。 14
- Q2 複式学級のおよさを生かし、基礎・基本の確実な定着を図る学習活動を展開するには、どのような点に留意し、指導計画を作成するとよいでしょうか。 16
- Q3 基礎・基本を確実に身に付けさせるための留意点は何でしょうか。 18
- Q4 学習指導要領では、第1学年及び第2学年の生活科の内容が一括して示されましたが、複式学級ではどのように指導したらよいでしょうか。 19

## 音 楽

- Q5 複式学級の年間指導計画を作成するときに、どのようなことに留意したらよいでしょうか。 22
- Q6 複式学級において題材の指導計画を作成する場合、どのようなことに留意したらよいでしょうか。 24
- Q7 複式指導における評価はどのような点に留意して進めていけばよいのでしょうか。 26
- Q8 複式学級のおよさを生かした学習活動を展開するには、どのような点に配慮したらよいでしょうか。 28

## 図 工

- Q9 複式学級において年間指導計画を作成する場合、題材を配列するときに、どのようなことに留意したらよいでしょうか。 30

- Q10 指導と評価の一体化を図るための指導計画は、どのような点に留意して作成すればよいでしょうか。 31
- Q11 造形遊びにおける指導と評価をどう進めればよいでしょうか。 33
- Q12 児童のよさを引き出しながら、基礎・基本を確実に身に付けさせるための留意点は何でしょうか。 36
- Q13 少人数でもできる鑑賞指導の例と評価のポイントについて教えてください。 38

## 家 庭

- Q14 年間指導計画を作成する場合、どのようなことに留意すればよいでしょうか。 40
- Q15 複式学級のよさを生かした指導計画・評価計画はどのように作成するとよいでしょうか。 42
- Q16 基礎・基本を確実に身に付けさせるためのポイントは何でしょうか。 44
- Q17 複式学級のよさを生かした指導は、どのように行えばよいでしょうか。 46

## 体 育

- Q18 合同体育を実施するときの指導計画は、どのような点に留意して作成すればよいでしょうか。 48
- Q19 基礎・基本を確実に身に付けさせる指導のポイントは何でしょうか。 52
- Q20 評価基準・判断基準（判断の尺度）の設定は、どのような点に留意すればよいでしょうか。 55

# 平成14年度版 Q&A もくじ

## 《国語》

- 年間指導計画を作成する場合、どのようなことに留意すればよいでしょう。  
平成14年度版 12
- 複式学級における効果的な国語の指導形態を教えてください。
- 複式学級における評価の在り方について教えてください。  
平成14年度版 14
- 基礎・基本を確実に身に付けさせるために必要なことは何でしょうか。  
平成14年度版 16
- 単位時間の指導において、個に応じた指導を行うには、どんなことが大切でしょうか。  
平成14年度版 18

## 《社会》

- 第3・4学年複式学級における社会科の年間指導計画を作成する場合、どのような点に留意したらよいでしょうか。  
平成14年度版 20
- 児童数の関係で、完全複式での指導ができない場合の指導計画は、どのように考えたらよいでしょうか。  
平成14年度版 21
- 複式のよさを生かし、基礎・基本の確実な定着を図る学習活動を展開するには、どのような点に留意し、指導計画を作成するとよいでしょうか。  
平成14年度版 22
- 学習指導要領では、第3学年及び第4学年の社会科の目標と内容が一括されて示されましたが、第3・4学年複式学級の授業では、どのような指導をしたらよいでしょうか。
- 本校は全校5学級で、1学級が第4・5学年の複式学級です。第4・5学年の指導と評価は、どのような点に留意して進めていけばよいでしょうか。  
平成14年度版 26

## 《算数》

- 複式指導の年間指導計画を作成するときに、単元の配列はどのように工夫すればよいでしょうか。  
平成14年度版 28

○ 基礎・基本を確実に身に付けさせるための留意点は何でしょうか。

平成14年度版 30

○ 指導と評価の一体化を進めるときの留意点は何でしょうか

○ 複式指導で個に応じた指導には、どのような形態が考えられますか。

平成14年度版 34

### 《理科》

○ 年間指導計画を作成する場合、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成14年度版 38

○ 理科における資質・能力等が、学年に応じて身に付いていくような指導計画をどのように作成すればよいでしょうか。

平成14年度版 39

○ 指導と評価の一体化を図るための指導計画は、どのような点に留意して作成すればよいでしょうか。

平成14年度版 41

○ 基礎・基本を確実に身に付けさせるために、授業はどのように行えばよいでしょうか。

平成14年度版 42

○ 基礎・基本を確実に身に付けさせるために評価を、どのように指導に結び付けていけばよいでしょうか。

平成14年度版 44

# 平成13年度版 Q&A もくじ

## 《社会》

- 新学習指導要領では、「調べ考える学習」が、重視されていますが、どのような点に留意して学習を進めていけばよいでしょうか。

平成13年度版 9

- 第3・4学年複式学級における社会科の年間指導計画を作成する場合、授業時数は第3学年が70時間、第4学年が85時間となっています。どのような点に留意して年間指導計画を作成していったらよいでしょうか。

平成13年度版 10

- 社会科と「総合的な学習の時間」との関連について、どのように考えていけばよいのでしょうか。

平成13年度版 11

## 《理科》

- 各学年において、問題解決の能力をどのように培っていけばよいのでしょうか。

平成13年度版 13

- 複式指導の指導計画にはどのようなものがありますか。また、指導計画を作成する上で、大切なことはどのようなことでしょうか。

平成13年度版 14

- 小規模・複式指導において、問題解決能力を育成するために、特に考慮しておかなければない点は、どのようなことでしょうか。

平成13年度版 15

- 新しい学習指導要領では、「ものづくり」や「自然災害に関する内容」が充実しています。また、「課題選択」の導入をしています。それらの学習の意義と、小規模・複式指導においては、どのようなことに留意していけばよいでしょうか。

平成13年度版 16

- 小規模・複式指導では、個別の観察や実験をする時間をたくさんとることができますが、その観察や実験をしたことを表現し、お互いの考えを練り上げていくことが難しいといわれています。そこで、小規模・複式指導における利点を生かし、表現力を向上させるためには、どのようにしたらよいでしょうか。

平成13年度版 17

## 《図画工作》

- 小規模・複式学級における図画工作科年間指導計画作成上の留意点としては、どういうことが考えられるのでしょうか。

平成13年度版 20

- 児童の人数が少ないため、参考作品や鑑賞資料の不足により、構想や技能が広がらず、なかなか多様な表現にまでいたりません。表現や鑑賞を豊かにするために、どのような支援をすればよいでしょうか。

平成13年度版 21

- 小規模・複式学級における図画工作科の授業の導入や展開は、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成13年度版 22

- 小規模・複式学級における、図画工作科の評価は、どのように進めればよいでしょうか。

平成13年度版 23

- 造形遊びが重視され、高学年でも造形遊びに取り組まなければなりません、指導のポイントと少人数でもできる造形遊びを教えてください。

平成13年度版 24

## 《体育》

- これからの体育学習を進めるうえで、どのような点に留意して指導したらよいでしょうか。

平成13年度版 27

- 少人数でゲームやボール運動の学習を進めるためには、どのような工夫があるでしょうか。

平成13年度版 29

- 全校体育や合同体育を実施するときは、どのようなことに留意して指導すればよいでしょうか。

平成13年度版 30

- 保健学習を進める場合、どのような点に留意して指導したらよいでしょうか。

平成13年度版 31

## 《特別活動》

- 学級活動の年間指導計画は、どのような点に留意して作成すればよいでしょうか。

平成13年度版 33

- 話し合い活動を充実させるために、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成13年度版 34

- 児童会活動・クラブ活動を活発に行うには、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成13年度版 35

- 各学校の創意工夫を生かし、充実した学校行事を展開するために、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成13年度版 36

# 平成12年度版 Q&A もくじ

## 《国語》

- 効果的に複式の授業を進めるには、間接指導を充実させることが大切だと考えます。間接指導をどのようにして進めていけばよいのでしょうか。

平成12年度版 9

- 学年の目標が2学年まとめられたことにより、上、下学年同一の教材による指導がよりやりやすくなったと考えますが、どのように進めたらよいのでしょうか。また、その場合、どのような点に留意すればよいのでしょうか。

平成12年度版 10

- 2つの学年の児童が、同じ教室で学んでいることを考えると、別々の教材を学ぶ場合でも、学習の成果等を交流し合うことにより、授業を充実させたいと考えますが、どのような進め方が考えられるのでしょうか。

平成12年度版 11

## 《算数》

- 複式指導では、直接指導と間接指導のバランスが大切だといわれていますが、それぞれ望ましい場面があるのでしょうか。

平成12年度版 14

- 共通の導入が大切だといわれますが、どのような点に留意して問題を作成すればよいのでしょうか。

平成12年度版 16

- 算数の学習指導では「考える力を育てる」ことが大切だといわれていますが、複式の指導では、特に、どんなことに留意して指導することが大切でしょうか。

平成12年度版 18

- 年間指導計画や単元の指導計画を作成する場合、どのような点に留意すればよいのでしょうか。

平成12年度版 20

## 《生活》

- 「直接働きかける」ということ、「自分自身への気付き」ということ、「自立への基礎を養うこと」ということについて、わかりやすく説明してください。

平成12年度版 25

- 複式学級での学年の組み合わせは、次年度の入学児童数によって単式になったり、変則の複式になったりすることがあります。第1・2学年複式の場合と、変則複式の場合の指導の進め方の留意点を教えてください。

平成12年度版 26



- 恵まれた地域環境や小規模・複式のよさを生かした生活科の指導を進めるためには、どのような指導の工夫が必要でしょうか。

平成12年度版 27

- 他教科等との関連を図った指導が大切だと言われていますがどのように進めればよいか教えてください。

平成12年度版 28

- 小規模・複式における生活科の評価のポイントを教えてください。

平成12年度版 29

## 《音楽》

- 少人数のクラスを一緒にして、全校音楽に取り組んでいます。児童は、生き生き活動していますが、これから、さらにどのように取り組んでいけばよいでしょうか。

平成12年度版 31

- 音楽をつくって表現する活動では、いろいろな楽器を自由に使いながら、お話に音楽を付けたり、自分のイメージに合った音を楽器で表現したりすることを中心に行っています。ほかにどのようなことが考えられるでしょうか。

平成12年度版 32

- 表現と観賞の指導の関連を図るために1時間の中に歌う時間、楽器を演奏する時間、音楽を聴く時間を必ず入れるようにしています。お互いの演奏を聴き合ったりすることも、観賞ととらえてよいでしょうか。

平成12年度版 33

- 指導と評価の一体化を図るために、題材の目標は「〇〇する」、評価は「〇〇できたか」ということを1時間の中に位置付けて授業の計画を立てています。

1単位時間ごとの指導と評価を関連付けていくには、どのようなことに配慮していけばよいでしょうか。

平成12年度版 34

- いろいろな教材を使って楽しい音楽の時間をつくりたいと思います。教科書以外の教材を使ってもよいでしょうか。

平成12年度版 35

## 《家庭》

- 新学習指導要領では、学習内容が2学年まとめて示されています。同単元同内容の学習で、第5・6学年をいっしょに指導しようと思いますが、どのようなことに留意して指導すればよいでしょうか。

平成12年度版 38

- 「ゆでたり、いためたりして調理ができること」という項目がありますが、「総合的な学習の時間」にそばをゆでて食べれば、家庭科の学習をしたことにしてよいでしょうか。

平成12年度版 40

- 年間指導計画を作成する場合、題材を構成したり、配列したりするときに、どのようなことに留意したらよいでしょうか。

平成12年度版 41

## 《道徳》

- 複式学級における年間指導計画は、どのような点に留意して作成すればよいでしょうか。

平成12年度版 43

- 道徳の時間の指導の充実のために、校長先生や教頭先生など、学級担任以外の指導者に、どのような形で参加してもらえば効果的でしょうか。

平成12年度版 44

- 小規模校では、学級の人数が少ないために、話し合いや討論を組織することが困難なことが多くあります。どのような指導が効果的でしょうか。

平成12年度版 45

## 《各教科共通》

- 児童がいない学年があったり、学校に複式学級が1学級だけの場合、どのような点に留意して年間指導計画を作成すればよいでしょうか。

平成12年度版 46

- 目標が2学年まとめて示されている教科の取扱いや、年間指導計画の作成について、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成12年度版 47

# 平成11年度版 Q&A もくじ

- 教科等の指導において、子どもたちの多様な考えを引き出しながら授業を活発なものに組織していくための指導は、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成11年度版 22

- 少人数での指導のメリットを生かしながら大集団への適応を図っていく指導は、どうあればよいでしょうか。

平成11年度版 24

- 合同学習とはどのような学習方法でしょうか。また実践する上で留意することはどんなことでしょうか。

平成11年度版 26

- 集合学習とはどのような学習方法でしょうか。また、実践する上で留意することはどんなことでしょうか。

平成11年度版 28

- 交流学习とはどのような学習方法でしょうか。また実践する上で留意することはどんなことでしょうか。

平成11年度版 30

- 学校行事において、少人数でも、ゆとりをもって豊かな活動を組織していくための指導はどうあればよいでしょうか。

平成11年度版 32

- 幼少時からの少人数の人間関係の中で、よりよい集団を目指す積極的な参加を促すリーダーの指導で大切なことは、どのような点でしょうか。

平成11年度版 34

- 特別活動の児童会活動やクラブ活動などにおいて、子どもたちの積極的な参加を促す指導の在り方はどうあればよいでしょうか。

平成11年度版 36

- 体育の指導で、球技など、集団で行う種目における指導をする際、どのような点に留意すればよいでしょうか。

平成11年度版 38

- 入門期における1・2年複式学級の指導の際に、どんなことに配慮したらよいでしょうか。

平成11年度版 40

- 変則複式学級（たとえば2・3年、4・5年のような場合）の場合、学習指導上の問題点と対策について教えてください。

平成11年度版 41

- 学年により時数や単元数(小単元)等に違いがあることに、どのように対応すればよいでしょうか。  
平成11年度版 42
- 複式学級での学習指導での間接指導の効果的な方法を教えてください。  
平成11年度版 43
- 「同単元指導」とは、どのような指導のことをいうのでしょうか。  
平成11年度版 46
- 「同単元同内容指導」とは、どのような指導のことをいうのでしょうか。  
平成11年度版 47
- 「同単元異内容指導」とは、どのような指導のことをいうのでしょうか。  
平成11年度版 48
- 道徳の時間の資料選択に当たっては、どのような配慮を必要としますか。  
また、指導するにはどのようなことに留意する必要がありますか。  
平成11年度版 51
- 小規模・複式学校で道徳の指導計画を作成する場合に留意することは何ですか。  
平成11年度版 53
- 小規模・複式学校での学校行事を計画する場合、特に地域との連携を図るためには、どのような点に留意すればよいでしょうか。  
平成11年度版 54
- 小規模・複式学級での弾力的な時間割の編成については、どのようにすればよいのでしょうか。  
平成11年度版 55
- 「総合的な学習の時間」について、小規模・複式学校で実施する場合、どのようなことに留意すればよいでしょうか。  
平成11年度版 58
- 小規模・複式学校で行う「調べ学習」は、どのような工夫が必要ですか。  
平成11年度版 59
- 小規模・複式学校では「総合的な学習の時間」において、子ども一人一人が課題をもち、意欲的に活動するには、どのような工夫が必要ですか。  
平成11年度版 60

# 生活

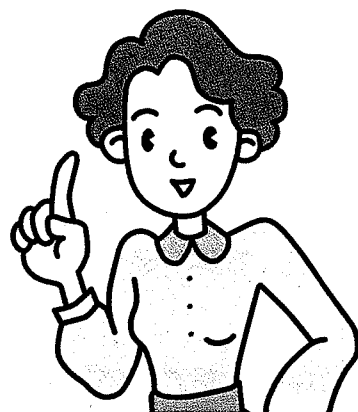
- 身近な人や社会、自然にかかわる活動や体験を一層重視しましょう。
- 直接かかわる活動や体験の中で生まれる知的な気づきを大切にしましょう。
- 実態に応じた弾力的な指導を心がけましょう。

## ① 指導計画作成のポイント

Q1

年間指導計画作成する場合、どのようなことに留意すればよいでしょうか。

複式学級においては、\*「同単元指導」と\*「学年別指導」の2つの指導形態があります。それぞれの指導の長所を生かし、年間指導計画に組み入れていくことが大切です。



### Point 1

目標や指導内容が2学年まとめて示されているメリットを生かしましょう。

同単元同内容での学習が無理なくできる「同単元指導」を行う方式がよいでしょう。活動場所を教室外に想定することも多く、同単元同内容での学習がより現実的です。

### Point 2

最新情報をもとに、生活科マップ、生活科暦、生活科人材バンクを作成しましょう。

生活科では児童の生活圏が学習の場になります。学校周辺の豊かな自然環境を生かした活動、地域の住民との連携・協力した活動、他の学校との交流や連携した活動など、学習を工夫することが大切です。

### Point 3

他教科等との関連を図った指導計画作成するようにしましょう。  
(国語、音楽、図工など)

生活科の学習は、総合的に学習が展開します。表現する活動は他教科の動機付けになったり、図工で作ったおもちゃを使って遊んだり、体験したことを劇化したりするなど合科的な内容の指導により、目標に近付くことができます。

# 複式学級における生活科の年間指導計画案

同単元同内容指導を取り入れ、一部学年別指導を位置付けた例

| A 年 度  |             | B 年 度   |                                 |
|--|-------------|---|---------------------------------|
| 第1学年(102時間)  | 第2学年(105時間) | 第1学年(102時間)   | 第2学年(105時間)                     |
| 1 みなさんよろしく<br>・ みんななかよし<br>・ がっこうをたんけんしよう                          | 4           | 1 みなさんよろしく<br>・ みんななかよし<br>・ がっこうをたんけんしよう                             |                                 |
| 2 はるをさがして<br>・ がっこうのまわりをしらべよう<br>・ わたしたちのまいたはなをみてこよう               | 5           | 2 はるをさがして<br>・ がっこうのまわりをしらべよう<br>・ わたしたちのまいたはなをみてこよう                  |                                 |
| 3 いきものともだちになろう<br>・ きれいなはなをさかせよう<br>・ うさぎさんとあそぼう<br>・ あめのひをたんけんしよう | 6           | 3 いきものともだちになろう<br>・ きれいなはなをさかせよう<br>・ うさぎさんとあそぼう<br>・ あめのひをたんけんしよう    |                                 |
| 4 なつもげんきに<br>・ 川あそびをしよう<br>・ 林のなかも夏がいっぱい<br>・ もうすぐ夏休み              | 7           | 4 なつだ、たいようがいっぱい<br>・ ひなたとひかげはどうちがう<br>・ 雨の日のふしぎをさがそう<br>・ なつをたのしくすごそう |                                 |
| 5 水の中のいきもの<br>・ 水たまりや小川<br>・ 川の近くをさがそう                             | 8           | 5 水の中のいきものをさがそう<br>・ 近くの田んぼにいてみよう<br>・ 川の近くをさがそう                      |                                 |
| 6 花であそぼう<br>・ どんなあそびができるかな<br>・ きれいなかざりをつくらう                       | 9           | 6 やさいのしゅうかくだ<br>・ おおきくなったかな<br>・ おいしく食べたいな                            |                                 |
| 7 秋をたのしもう<br>・ 秋の草花をさがそう<br>・ 木のみであそぼう                             | 10          | 7 爽やかな秋だ<br>・ 畑もほうさくだ<br>・ まつりだ、わっしょい                                 |                                 |
| 8 ここはおもちゃ王国<br>・ むかしのおもちゃで<br>・ おもちゃをつくらう<br>・ おもちゃ王国をつくらう         | 11          | 8 のりものによってみよう<br>・ バス停に行ってみよう<br>・ のりものごっこをしよう<br>・ バスによって、見学しよう      |                                 |
| 9 ふゆをたのしく<br>・ ふゆのけしきをみてみよう<br>・ あたらしいとしをむかえ                       | 12          | 9 北風にまけないで<br>・ 冬のいきものをさがそう<br>・ 正月のあそびをしよう                           |                                 |
| 10 ふゆをたのしく<br>・ ふゆのくらしをたのしく<br>・ ゆきあそび                             | 1           | 10 かぞくっていいな<br>・ かぞくのしょうかいを<br>・ じぶんでできるしごと                           |                                 |
| 11 じぶんのカレンダーを<br>つくらう<br>・ 大きくなったね<br>・ カレンダーをつくらう                 | 2           | 11 じぶんのカレンダーを<br>つくらう<br>・ 大きくなったね<br>・ カレンダーをつくらう                    |                                 |
| 12 もうすぐ2年生<br>・ はやくこないかな1<br>年生                                    | 3           | 12 もうすぐ2年生<br>・ はやくこないかな1<br>年生                                       | 11 もうすぐ3年生<br>・ きょうしつさんざ<br>うなら |

第1学年にとって初めての生活科の単元です。同単元指導になり、第2学年にとっては繰り返しの単元になりますが、第1学年をリードして学習活動を行うことが効果的です。

生き物の飼育活動については、A・B年度にかかわらず、日常の当番活動等で動植物とのふれあいを大切にしましょう。

国語科の「書くこと」の学習において、活動したことを文章で表現したり、図画工作で、絵に描いたりするなど、他教科との関連を図りましょう。

A・B年度とも前半に下学年単元、後半に上学年単元を配列します。

第1学年と第2学年の時数の違いもこの時期に調整しましょう。

学年のまとめのこの時期には、それぞれの学年のねらいに到達するために学年別指導を行うほうがよいでしょう。

## ※ 同単元指導・学年別指導

### 同単元指導

同一の教材を用いて行う単式学級の指導に近い授業形態です。ただし、児童が2学年で確実に当該学年の目標に到達できるように配慮することが必要です。

### 学年別指導

学年別に指導する形態です。系統性を重視する場合や、学年の組み合わせが変わることが見込まれる場合などに行います。担任外の協力を得て、単式的な指導をすることもできます。

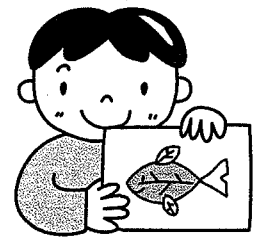
Q2

複式学級のよさを生かし、基礎・基本の確実な定着を図る学習活動を展開するには、どのような点に留意し、指導計画を作成するとよいでしょうか。



I 小学校学習指導要領解説・内容

(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気付き、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりするようにする。



学習指導要領で示された内容が生活科の基礎・基本です。

複式の特質や地域の特性を考慮した単元指導計画に結び付けます。

単元目標 第1・2学年「秋をたのしもう」A年度

関心・意欲・態度 ・ 秋の自然や遊びの楽しさに関心をもち、秋探しや木の実での遊びを楽しむことができる。

施行・表現 ・ 落ち葉や木の実などで遊んだり、遊ぶものをつくったりして友達といっしょに楽しく遊ぶことができる。

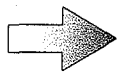
気付き ・ 秋の公園などでの遊びや草花、木、虫などの観察、人とのかわりを通して、自然や生活に見られる季節の変化に気付くことができる。

II・III 観点別評価規準表の作成

| 次 | 時 | 目 標                              | 評 価 規 準                                       |                             |                             |
|---|---|----------------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|
|   |   |                                  | 関心・意欲・態度                                      | 思考・表現                       | 気付き                         |
| 1 | 2 | 学校の周りで友達とかかわりながら秋の草花を見付けようとしている。 | 友達といっしょに秋の草花を楽しく見付けようとしている。                   |                             | 秋の草花を見付け、春の様子との違いに気付いている。   |
|   | 3 | 見付けた草花をならべ、友だちに紹介することができる。       | 単位時間における評価規準は1~2項目にし、単元全体を通して3観点で評価できるようにします。 | 見付けた草花を友達に分かりやすく発表することができる。 | 友達の発表から、春の草花の様子との違いに気付いている。 |

**A** 複式学級においては少人数であることよさを生かした学習指導を進めていくことが大切です。さらに、指導と評価の一体化を図り、評価方法を工夫改善していくことが基礎・基本の確実な定着につながります。

**I** 単元の目標を3観点から設定します。



生活科の評価は、結果よりも過程を重視します。

IV 判断基準の作成

| 時間 | 評価規準  | 判断基準(判断の尺度)   |                                    | 努力を要する児童への対応・手立て                          |
|----|---|---|------------------------------------|---|
|    |   | 十分満足できる(A)  | おおむね満足できる(B)                       |   |
|    | 秋の遊び場で草木や落ち葉などとふれあいそこに来ている人とかかわりをもちながら遊ぼうとする。 | 【関心・意欲・態度】<br>木の実や落ち葉などで夢中になって遊んだり、友達と仲良く遊んだりしている。    | 木の実や落ち葉などで友達と遊んでいる。                | 木の実や落ち葉で遊ぶことの楽しさを感じさせるように教師も示しながらいっしょに遊ぶ。 |
|    | 1単位時間の評価項目を絞り、評価方法を工夫しましょう。                   | 【思考・表現】<br>木の実や落ち葉を使って、工夫しながら遊ぶものをつくりたり、遊び方を考えたりしている。 | 木の実や落ち葉などを使って友達と遊んだり、遊び方を考えたりしている。 | 友達の遊び方を参考にし、具体的にいっしょに遊んだり、考えたりする。         |

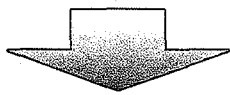
評価規準をもとに評価する方法を明らかにします。

評価規準・判断基準に基づいて、児童の活動を確実に見取る。  
**【基本の目】**

長期的な視野に立って、継続的に児童の変容を見取る。  
**【長い目】**

行動観察、作品や発言、自己評価や相互評価、家庭や地域の人々からの情報も加味する。  
**【広い目・多くの目】**

振り返りを大切にし、児童の学習状況を常に把握し、「おおむね満足できる」状況に達したかを見極めるとともに指導の改善を図りましょう。



基礎・基本の確実な定着 指導と評価の一体化



## ② 基礎・基本を確実に身に付けさせる指導と評価のポイント

### Q3

基礎・基本を確実に身に付けさせるための留意点は何でしょうか。

**A** 学習指導要領・生活科に示された目標及び内容が基礎・基本となります。

### 自立の基礎を養う

・ 学習の自立 ・ 生活上の自立 ・ 精神的な自立

究極の目標です。



|                  |               |                  |
|------------------|---------------|------------------|
| ・ 自分と人や社会とのかかわり  | ・ 自分と自然とのかかわり | ・ 自分自身や自分の生活について |
| ・ 生活上必要な習慣や技能の習得 |               |                  |

基礎・基本の中核をなすものです。

### 具体的な活動や体験を通す

・ 直接働きかける学習活動 ・ 表現する学習活動

#### Point

自立の基礎を養っていくために、具体的な活動や体験を通しながら、対象（人、社会、自然）と十分にかかわらせることです。

その中で、

- ・ 「生活への関心・意欲・態度」
- ・ 「活動や体験についての思考・表現」
- ・ 「身近な環境や自分についての気付き」

を育てていきます。

生活科の内容に示されている、具体的な活動や体験をしっかりと位置付けた活動を行うことが、児童に基礎・基本を身に付けさせることとなります。

具体的な活動や体験を通して、対象と繰り返しかかわることにより、実感を伴った気付き、あるいは実感したことを自分の言葉で言い表すことが可能となります。次の3つがキーワードです。

### 具体的活動や体験

・ 知る・分かる  
・ 気付く

できる

使える

具体的な活動や体験を十分にを行うことにより可能となります。

これからの生活や学習において生きて働くようになることが大切です。

## 指導のポイント

- ・ 人、社会、自然との魅力的な出会わせ方を工夫し、児童の思いや願いを育てます。
- ・ いつ、どこで、どのような具体的な活動や体験をするのが望ましいかを児童とともに考え、工夫します。
- ・ 対象に寄せる情緒的なかわりとともに、児童の気づきを知的なものにとらえ、その意味や価値を児童に伝えます。  
そのために、活動における児童の様子を把握し、的確な支援を心がけます。
- ・ 児童が示す多様性を生かし、それに応える方策を工夫します。
- ・ 生活科の学習が児童の日常生活と一層結び付くようにするとともに、児童の学びを広げて豊かにしていく工夫をします。
- ・ 児童が対象に十分かかわることができるよう、可能な限り時間を保証します。

Q4

学習指導要領では、第1学年及び第2学年の生活科の内容が一括して示されましたが、複式学級ではどのように指導をしたらよいでしょうか。

### ■ Point 1

入門期やまとめの時期には、特にそれぞれの学年に配慮して指導する必要があります。

- ① 「同単元指導」を基本とします。  
それぞれの学校や地域の実態を生かして創意工夫します。

- ② 本時のねらい、評価規準、判断基準（判断の尺度）を設定し、児童個々の実現状況を把握します。

### ■ Point 2

同じ単元であっても第1学年と第2学年の時では、評価の視点や願う姿に差が生じて当然です。指導する学年の発達段階を考慮して評価をします。

### ■ Point 3

異学年で学習するよさを生かして授業を構成します。

- ③ 学習活動を進める上では、上学年がリーダーとしての役割を体験しながら学習していけるよう工夫します。

A・B両年度に共通の単元を設定し、2年間繰り返し学習することを通して、各学年の発達段階に配慮した指導例を紹介します。

1 単元名

みなさんよろしく（繰り返し単元）

2 単元の目標

第1学年 ・学校の様子や先生、友達や上級生とのかかわりが分かり、決まりを守って楽しく学校生活を送ることができる。

第2学年 ・第1学年をリードしながら校内や通学路を案内し、安全のための施設や学校生活を支える人々がいることに気づき、自信をもって楽しく学校生活を送ることができる。

4月は最初の単元です。1年生にとっては、学校生活に慣れることが必要です。そのために、入門期は、毎年繰り返して同じ単元を学習するようにします。複式の特質や地域の特性を考慮した単元指導計画に結び付けます。

各学年の発達段階を配慮し、単元の目標を設定します。

年度毎に立場が変わり、活動内容も異なってくるので、活発な活動を展開していくことができます。

3 単元について（省略）

4 指導計画

| 小単元                         | 主な活動（第1学年）   | 主な活動（第2学年）   |
|-----------------------------|--|--|
| もうすぐ2年生<br>（前年度の単元に位置付けておく） | <p>まとめの時期にも、各学年段階を考慮した内容を設定する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歓迎会の計画を立てる</li> <li>○ 1年生への招待状を作る。</li> <li>○ 歓迎会の準備をする。</li> </ul> |
| みなさんよろしく                    | <p>4月最初は2年生のみの学習とするので、時数が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名刺交換をする。</li> <li>○ 1年生歓迎会に参加する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名刺づくりをする。</li> <li>○ 名刺交換をする。</li> <li>○ 1年生歓迎会を開く。</li> </ul>      |
| 学校探検をしよう                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探検チームを作り、探検の準備をする</li> <li>○ 学校の中や校庭の探検をする。</li> <li>○ 探検地図にまとめる。</li> </ul>    | <p>2年生は昨年の学習を思い出しながら1年生をリードすることができます。また、1年生は、2年生がリードしてくれることにより安心して活動することができます。</p>                           |

5 単元の評価規準

| 生活への関心・意欲・態度                                      | 活動や体験についての思考・表現                                      | 身近な環境や自分についての気づき                  |
|---|--|-----------------------------------|
| 学校の施設や先生、学校生活を支えている人々や友達とかかわりながら楽しく学校生活を送ろうとしている。 | 楽しく安心して学校生活を送れるように工夫するとともに、学校生活の楽しさを身近な人々に伝えることができる。 | 学校の施設、学校生活を支えている人や友達の様子などが分かっている。 |

6 本時の学習活動

(1) 目標

〈第1学年〉 2年生の挨拶や自己紹介等の仕方を参考にしながら、楽しく名刺交換をすることができる。

〈第2学年〉 1年生の世話をしながら、進んで名刺交換をすることができる。

(2) 本時の評価規準・判断基準(判断の尺度)

|      | 生活への関心・意欲・態度の評価規準                           | 判断基準(判断の尺度)                    |                                  | 努力を要する児童への対応・手立て       |
|------|---|--------------------------------|----------------------------------|------------------------|
|      |   | 十分満足できる(A)                     | おおむね満足できる(B)                     |                        |
| 第1学年 | 先生や上級生(2年生)、友達と楽しく名刺交換をしようとする。              | 先生や友達と自己紹介し、楽しく名刺交換をしている。      | 2年生に促されながら、先生や友達に自己紹介し名刺交換をしている。 | 教師から声をかけて自己紹介や名刺交換をする。 |
| 第2学年 | 1年生の世話をしたり、手本としてやって見せたりしながら、進んで名刺交換をしようとする。 | 1年生に手本を示しながら進んで世話をし、名刺交換をしている。 | 恥ずかしがりながらも手本を示し、名刺交換をしている。       | 手本を示すよう声がけしたり、励ましたりする。 |

(3) 展 開

|     | 活動の流れと予想される児童の活動   | 活動の流れと予想される児童の活動  |  |
|-----|--|---|--|
|     |  | 第1学年  | 第2学年   |
| 導入  | 1 本時の活動を確認する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">名刺交換をしよう。</div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが作った名刺を提示し、紹介することにより、本時活動への意欲付けを図る。</li> </ul>   |  |
| 展開  | 2 名刺交換の仕方を確認する。<br>・ 2年生の名刺交換をモデルとして示す。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>2年生の挨拶、話し方、握手、声の高さに気を付けて見るように指示する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>モデルとして、挨拶、自己紹介、握手をきちんと行うよう確認する。</li> </ul>  |
|     | 3 名刺交換をする<br>・ 2年生と<br>・ 1年生と<br>・ 先生方と  | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年生とペアで活動させる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況を見ながら、個別に励ましたり、声をかけたりする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生が戸惑っている時は、話し方等を教えるように促す。</li> <li>1年生を職員室等へ案内するよう声がけをする。</li> </ul>  |
| まとめ | 4 活動を振り返る。<br>・ 楽しかったこと<br>・ 1年生のがんばりについて<br>・ 2年生のがんばりについて                          | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかったこと、初めて知った先生等の名前を中心に発表させる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生を迎える会等でも上級生と名刺交換ができることを話し、活動を継続して行うことができるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の様子やリーダーとしての自分の行動について発表させる。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーとしての2年生の活動の様子を認め、自信をもたせる。</li> </ul> </div> |
|     | 5 次時の活動の確認をする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>名刺交換した人たちともっと仲良くなりたい、他の先生方とも名刺交換をしたいなど、次の活動について意欲をもたせていく。</li> </ul>   |  |

初めての活動で、不安を抱えている1年生の児童へ、個別に声掛けできる時間を位置付けます。

児童の発表から、どんなことに興味を示しているかを把握していきます

2年生の頑張りを認め、これからも1年生をリードしながら学習を進めていこうとする意欲をもたせます。

# 音楽

- 複式の利点を生かし、児童の実態に応じた指導計画を作成しましょう。
- 目標を明確にするとともに、目標達成のための具体的な方法を工夫しましょう。
- 評価規準を具体的に設定し、多様な評価方法を工夫しましょう。

Q5

複式学級の年間指導計画を作成するとき、どのようなことに留意したらよいでしょうか。

## Answer 1

### 年間計画作成の基本

児童の実態を把握し、教育課程全体とのかかわりを考えた計画を作成しましょう。

- ① 学習指導要領の趣旨を十分に生かす。
- ② 音楽科の教育課程全体における役割を明確にとらえ、各教科、道徳、特別活動との関連を図る。
- ③ 音楽科の目標、学習目標、重点目標及び学習内容について十分に検討する。
- ④ 地域の環境や実情、児童の実態等を最大限考慮しながら、創意工夫を図る。

- ① 題材そのものの学習の深まりを考えると同時に、題材相互の関連を重視し、その系統性、発展性に留意する。
- ② 学校行事や季節感を表すもの、生活経験的なものなど、地域の実態を十分踏まえた配列を工夫する。
- ③ 指導内容に偏りのないこと、また重点的な扱いにも留意し、バランスよく調和の取れた配列をする。
- ④ 合同合宿、集合学習、交流学习等の学習形態を工夫する。

## Answer 2

### 題材配列の工夫

題材相互の関連を図るとともに、学校行事や地域の行事を考慮しましょう。

## Answer 3

### 教材選択の観点

複式学級特有の利点を生かした音楽活動を展開できるような教材の選択をしましょう。

- ① 地域や児童に密着した地域教材。
- ② 編曲や様々な表現活動を組み合わせることが可能な教材。
- ③ 2個学年以上の児童が同時間内に学習活動可能な教材。
- ④ 互いに励まし合い、認め合い、学び合えるよう、表現と鑑賞の関連を図った活動が可能な教材。

- ① 題材のねらいを確認し、それぞれの学年にどんな力を付けたいのか明確にする。
- ② 学年のねらいに対応した教材を選択し、児童の実態に応じて編曲などの工夫をする。
- ③ 指導形態の工夫を図り、時間数のずれに対応する。
- ④ 次年度を見通した計画を作成する。

## Answer 4

### 変則複式の場合

内容が似ている教材、指導内容の近い題材を組み合わせさせて作成しましょう。

1・2年の年間指導計画一覧表の例

| 期 | 月                 | 題材<br>題材のねらい   | ○教材<br>(●は重点教材)   | 時数 | 内容      |         | 評価規準  |  |  |   |
|---|-------------------|--|---|----|---------|---------|---|--|--|---|
|   |                   |  |   |    | A<br>表現 | B<br>鑑賞 | 音楽への関<br>心・意欲・<br>態度  | 音楽的な感<br>受や表現の<br>工夫   | 表現の<br>技 能   | 鑑賞の<br>能 力  |
| 一 | 4<br>5<br>月       | みんななかよし<br>・ 音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする態度を育てる。<br>・ 友だちと一緒に歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。                  | ● ちゅうりっぴほか<br>○ ぞうさんのさんぽ<br>○ てとてであいさつ<br>● ひらいたひらいた<br>○ かくれんぼ | 12 | アイウ等    | アイウ等    | ・ 歌唱表現を聴いて同じように歌いたいという思いや願いをもち、楽しく歌唱表現をしようとしている。<br>・ 歌に合わせて自ら体を動かし、楽しく歌唱表現をしよう                     | ・ 歌詞の情景や気持ちを想像したり、登場人物や動物の気持ちになったりして、身体表現をしたり歌い方を工夫したりしている。                    | ・ 必要以上に大きな声でなく、自分の歌をうけながら、ていねいに歌ったり、きれいな歌声で歌ったりしている。                       | ・ 色々な楽器の音にも興味を持ち、音楽を聴く中で、自然に聴こえてくる楽器の音色に気付いたりして聴く。      |
|   | 6<br>7<br>月       | おんがくにあわせて<br>・ 歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。<br>・ 拍の流れに乗って、簡単なリズムが表現できるようにする。                   | ● じゃんけんぽん<br>○ かたつむり<br>○ うみ<br>● かえるのがっしょう<br>○ ラデッキーこうしんきょく   | 13 |         |         | ・ 歌に合わせて自ら体を動かし、歌唱表現をしようとしている。  | ・ 拍の流れやフレーズ、強拍や弱拍を感じ取って歌い方や身体表現を工夫している。<br>・ 旋律やリズムの繰り返しや変化などを取り、表現を工夫している。    | ・ 簡単なリズム譜を見て、リズムやリズム打ちをしたり、歌ったりしている。                                       | ・ 楽曲を特徴付けているリズム、旋律及び速さの特徴に気付いて聴く。<br>・ フレーズのまわりを意図して聴く。 |
| 二 | 8<br>9<br>10<br>月 | いいおとさがして<br>・ 音や響きの違いに気付いたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。<br>・ 階名模唱や暗唱で歌ったり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。 | ● きらきらぼし<br>○ おもちゃのちゃちゃちゃ<br>○ かじやのポルカ<br>● うみ                  | 15 |         |         | ・ 楽器を演奏したり、身体表現をしたりして、楽しく器楽活動に取り組んでいる。<br>・ 様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなど身近な楽器に興味・関心を持ち、簡単なリズムや旋律を演奏しようとしている。 | ・ 様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなど身近な楽器の演奏のよさや楽しさを感じ取っている。<br>・ 体全体で音楽を感じ取って、リズムの演奏を工夫している。 | ・ 簡単なリズム打ちや階名により模奏をしている。<br>・ 歌や楽器の演奏に合わせて手や打楽器でリズムを打ったり、楽器に合わせて演奏したりしている。 | ・ 主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたり、身近な楽器で演奏したりしながら、楽曲全体や流れを感じ取って聴く。  |

複式学級において題材の指導計画を作成する場合、どのようなことに留意したらよいでしょうか。

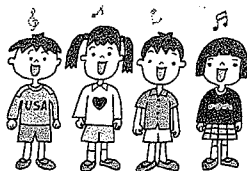
**A** 題材の目標、評価規準、指導内容、教材等を十分吟味して指導計画を作成します。児童にどんな力をつけたいのかを明らかにし、計画を作成します。教材を教えるだけでなく、教材で何を指導するのかを明らかにしましょう。

### 【題材の指導計画作成の手順】

- Point1 題材名 2学年共通の題材名を設定します。
- Point2 題材の目標 学習指導要領の目標・内容との関連を考え設定します。
- Point3 評価規準 4つの観点について個の実態や学年毎の発達段階を考えて評価規準を設定します。
- Point4 教材 2学年の教材からねらいに沿って同一教材を選択します。
- Point5 指導計画 学習指導要領の指導内容の項目をもとに計画を立てます。ねらいに沿って表現と鑑賞の関連を図った計画を立てます。

### 【題材の指導計画の具体例】（第5・6学年）

- 1 題材名 きれいなひびきで
- 2 題材の目標
  - (1) 歌詞の表す情景を想像し、曲想を感じ取って表情豊かに歌うようにする。
  - (2) 各パートの旋律の流れや響きを聴き合い、音楽の美しさや楽しさを楽しむ。
- 3 評価規準
  - (1) 声の美しさに関心を持ち、進んで聴いたり表現しようとしている。 (関心・意欲・態度)
  - (2) 音楽的な響きや音量のバランスを聴き、歌詞やフレーズを生かした曲想の表現をしようとしている。 (音楽的な感受・工夫)
  - (3) 2つのふし(3つのふし)が重なる美しさを感じ取りながら歌ったり、演奏をしている。 (表現の技能)
  - (4) 曲想の変化や音楽全体の流れのよさや美しさを感じ取って聴くことができる。 (鑑賞の能力)
- 4 教材名
  - 5年教材 ○「星の世界」
  - 6年教材 ◎「ふるさと」
  - ◎ 山田耕筰の歌曲



題材名が、学習内容を明確に決定付けます。どんな力を付けるか題材名に表れます。どんな内容かが分かる題材名を設定しましょう。

選択した教材について、主教材(◎)を決め、指導の重点化を図ります。全ての教材を同じように扱うのは無理があります。

次年度との関わりを意識して教材の組み合わせを考えます。今回は、6年生の教材を中心に設定した例です。

教科書教材を参考にしながら、児童の実態を考え、教材開発を積極的に行いましょう。

## 5 題材の指導計画（7時間扱い）

| 次  | ねらい                              | 時     | 学習時間  | 評価規準   |                              |                               | 教材                             |      |      |      |
|--|----------------------------------|-------|---|--|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------|------|------|
|  |                                  |       |   | 音楽への関心・意欲・態度   | 音楽的な感受や表現の工夫                 | 表現の技能                         | 鑑賞の能力                          | 星の世界 | ふるさと | 山田耕柝 |
| 第一次  | 歌詞の表す情景を思い浮かべ、曲想を感じて豊に歌うようにする。   | 1     | 星の世界の範  | 音楽への関心・意欲・態度   | 星の世界の曲想を感じ取っている。             | 歌詞の内容を理解し、音程を正しく歌っている。        | 歌曲の歌詞や歌声に気がつくことができる。           | 星の世界 | ふるさと | 山田耕柝 |
| <p>評価規準は、できるだけ明確に設定します。児童の具体的な姿をイメージしましょう。次ごとのねらいにかかわる観点、評価の重点になります。</p> |                                  |       |   | <p>表現と鑑賞の関連を考えた教材の指導計画を考えます。表現で学んだ音楽のよさを鑑賞でさらに深めることができるように、表現と鑑賞の関連を考えた教材配列をします。聴く活動をどこに位置付けていくかがポイントです。</p> |                              |                               |                                |      |      |      |
| 第二次  | 響きを味わいながら2部（3部）合唱ができるようにする。      | 3・4・5 | ふるさとの歌詞を朗読し、イメージを深める。<br>旋律、副次的旋律を覚え、2部（3部）合唱ができる。        | 声の響きに関心を持ち、意欲的に聴いたり、歌おうとしている。  | 2部（3部）合唱をすることができる。           | 2部（3部）合唱をすることができる。            | 2部合唱・3部合唱を聴き、合唱のよさを味わうことができる。  | 星の世界 | ふるさと | 山田耕柝 |
| <p>主教材「ふるさと」の合唱を中心に学習を進めます。どんな力を身に付けさせるかを考えながら学習内容を精選します。</p>            |                                  |       |   |  |                              |                               |                                |      |      |      |
| 第三次  | 響きを感じて、曲想を生かして表現を工夫し合唱をすることができる。 | 7     | 歌曲の色々な演奏形態を聴き分けることができる。<br>鑑賞を生かし、音の重なりを感じて表現を工夫した合唱ができる。 |  | 山田耕柝の歌曲のよさを感受し、自分の演奏に生かしている。 | 音の重なりや響きを感じて、表情豊かに合唱することができる。 | 歌声による演奏の違いを聴き分け、よさをあじわうことができる。 | 星の世界 | ふるさと | 山田耕柝 |

### 変則複式では

- できるだけ似ている題材で計画を立てましょう。
- 複式の上学年の昨年度の教材と学習内容を確認しましょう。
- 上学年が1度学習した教材であっても、学習の内容、ねらいを高めれば2回扱うことはかまいません。ただし、提示には新鮮さが必要です。下学年に教える活動を取り入れることも可能です。
- 年間の指導時数が異なります。2・3学年の学級では、2年生の10時間を1年生と合同で、行うことも可能です。



## Q7

複式指導における評価は、どのような点に留意して進めていけばよいのでしょうか。

**A** 評価は、単式の学級の場合と同様に児童の実態を十分に把握することが基本です。特に、2つの学年が同時に学習を進める場合が多いことから、上学年、下学年における児童の音楽経験の差や少人数の利点を生かし、児童の実態に応じた適切な指導と評価を工夫していくことが大切です。

## ① 題材の目標の設定

個の実態を把握して目標を設定します。

## ② 題材の評価規準の設定

音楽科の4観点から評価規準を明確に設定します。

- ① 関心・意欲・態度  
音楽に親しみ、音楽を進んで表現し、鑑賞しようとしている。
- ② 音楽的な感受・工夫  
音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し、生かしている。
- ③ 表現の技能  
音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。
- ④ 鑑賞の能力  
音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。

## ③ 1時間毎の目標の設定

## ④ 1時間の評価規準の設定

2学年同じ目標を設定します。ただし、技能面の目標の場合、学年差を考慮し、**学年毎に設定することが望ましいです。**

## ⑤ 判断基準（判断の尺度）の設定

1時間の授業の中で、ねらいにかかわる評価は**1～2項目が限度**です。これだけという重点を設定し、その判断基準と方法を具体的にします。評価のためだけの授業にならないように気を付けます。

## 授業

設定した評価規準について判断する基準（判断の尺度）を設定します。技能面の評価では、技能面の差が大きいことから、**学年毎に設定することが望ましいです。**

努力を要する児童へは、具体的な教師の支援のあり方を明記します。

評価方法…観察、演奏、作品  
学習カード、発言挙手等  
※ 顕著なA、支援の必要なCについて評価します。  
評価後の適切な支援が大切です。

## ⑥ 評価のまとめ

1つの題材が終わるごとに、4観点全ての評価を適切に記録します。

## 本時の具体的な評価

技能面の差を考慮し、学年毎に本時の目標を設定した例。

教師の具体的な支援を明らかにします。

- (1) 本時の目標  
 1年 音楽にあわせて表現し、リズム遊びや演奏を楽しむことができる。  
 2年 拍の流れやフレーズを感じ取って、リズム遊びや演奏が楽しくできる。
- (2) 本時の評価規準

| 本時の評価規準  | 判断規準 (判断の尺度) |   | 努力を要する児童への対応・手立て                                  |
|--|--------------|---|---|
|  | 十分満足できる (A)  | おおむね満足できる (B)   |   |
| 音楽にあわせて楽しく歌や演奏をしようとする。<br>(音楽への関心・意欲・態度)               | 共通           | 拍の流れやフレーズを感じ取って、友達といっしょに歌や演奏を楽しんでいる。  | 友達の歌声や演奏を聴かせ、教師と一緒に演奏する。                          |
| リズムにのって楽しく歌ったり、フレーズのまとまりを感じて鍵盤ハーモニカで演奏ができる。<br>(表現の技能) | 1年           | ・ 伴奏に合わせて、楽しくじゃんけんしながら歌うことができる。<br>・ 部分的に旋律奏ができる。                           | ・ 友達の表現をまねしながら、教師も一緒になって表現する。<br>・ 教師や友達の模奏をさせる。  |
|  | 2年           | ・ 身体全体でリズムを感じながら、楽しくじゃんけんをしながら歌うことができる。<br>・ フレーズのまとまりを感じて「かえるのうた」の旋律奏ができる。 | ・ 教師と一緒に身体でリズムを感じて歌うようにさせる。<br>・ フレーズ毎に教師の模奏をさせる。 |

本時は、4つの観点のうち「音楽への興味・関心・態度」と「表現の技能」の2観点を評価します。1時間に1~2項目が目安です。

「音楽への関心・意欲・態度」については、共通に設定し、「表現の技能」については、学年の技能面の差を考慮し、2つの学年それぞれに判断基準(判断の尺度)を具体的に設定します。



## (3) 本時の展開

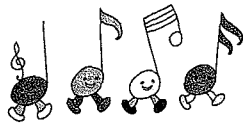
| 学習内容・学習活動  | 指導上の配慮事項 ★評価   |
|--|--|
| 1 既習曲の歌唱とリズム遊び<br>・ 「リボンのかけ橋」を歌う。<br>・ タンタンタンウンなどのリズム遊びをする。<br>・ 「しろくまのジェンカ」に合わせて表現する。       | ・ 8拍のリズム遊びにも挑戦し、意欲を高め、ジェンカのリズムを楽しむようにする。   |
| 2 歌唱表現① (1年生教材)<br>・ 「じゃんけんぼん」の歌を覚える。<br>・ じゃんけんをしながら音楽を楽しむ。                                 | ・ 2年生の既習教材なので、絵を見ながら2年生は思い出し、1年生に教えるようにする。<br>・ じゃんけんを取り入れて楽しく表現ができるようにする。   |
| <p>繰り返し表現する中で、支援の必要な児童をできるだけBの状況に近づけるようにします。<br/>※支援の例…教師がタンバリンでリズムをとる。教師が児童といっしょに体を動かす。</p> | ★ リズムにのって歌ったり、じゃんけんをしながら楽しんで歌うことができる。<br>(表現の技能…歌声・表現による)  |
| 3 歌唱表現② (新曲との出会い)<br>・ 「やまびこさん」を覚える。   | ・ やまびこのまねっこをしながら歌を覚える。<br>・ 教師が先に歌い児童が模唱するようにする。<br>・ 音程、表情をまねできるようにする。<br>★ 音楽に合わせて楽しく歌や演奏をしようとする。<br>(音楽への関心・意欲・態度…表情・歌声による) |
| 4 楽器演奏 (2年生教材)<br>・ 鍵盤ハーモニカでリズム遊びをする。<br>・ 「かえるのうた」を演奏する                                     | ・ 同じ音でリズム遊びをし、楽しむようにする。<br>・ 1学年はドの音で演奏し、2年生は旋律を演奏しあわせて演奏する。<br>★ フレーズのまとまりを感じて鍵盤ハーモニカで演奏ができる。<br>(表現の技能演奏による)                 |
| 一人一人を判断基準をもとに評価します。特にA、Cの児童について適切にすばやく評価します。さらにCと判断した児童に支援します。                               | 児童の感想・自己評価からさらに内面を理解し、評価に生かします。  |

複式学級のよさを生かした学習活動を展開するには、どのような点に配慮したらよいでしょうか。

### ■ Answer 1

**創造的な学習活動を充実させましょう。**

異年齢の児童と一緒に学習を進める複式学級は、創造的な学習活動の取組に有効な条件を備えています。



### ■ Point 1

- ① 児童一人一人の思いやイメージを大切に生かし、それらを発展させていくような工夫を図る。
- ② 様々な音や音楽から感受したことをもとにして、児童自らが創意工夫しながら表現し、それを分かち合えるような学習の展開に努める。
- ③ 児童が進んで参加できるような魅力ある教材、創造的な活動が可能な幅のある題材を用意する。
- ④ 児童が楽しみながら、主体的に課題に取り組めるように配慮しつつ、同時に、課題意識や活動のねらいを学習者が明確にもつための支援を行う。
- ⑤ 教師自身が、音楽に関わる一人の主体として自ら創造的活動に参加し、児童とともに学び高め合う。

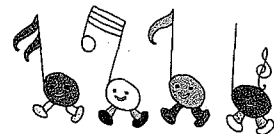
### ■ Point 2

- ① 児童が様々な音楽に進んで関わり、豊かな音楽体験を得ることができるような活動や場を設定する。
- ② 児童自身が学習活動の目標を理解したり自分の課題を発見したりして、自ら進んで活動ができるよう、興味ある学習内容を設定する。
- ③ 児童一人一人が自由な発想で、しかも自信を持って表現できるような活動や場を設定する。
- ④ 児童の活動意欲を高めるような教材選択を工夫する。
- ⑤ 音楽を学び続ける意欲を高めるため、発展的に学習を積み重ねていくような学習活動の展開を構想する。

### ■ Answer 2

**自ら学ぶ意欲を育てましょう。**

児童一人一人のよさや可能性を教師が受け止め、児童の側に立った学習指導を工夫し、学ぶ意欲を育てましょう。



### ■ Answer 3

**個に応じた指導を充実させましょう。**


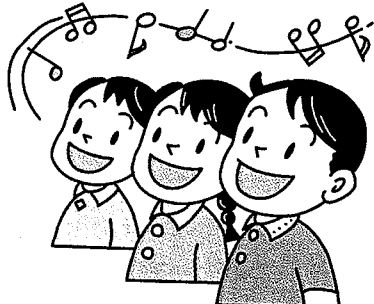
児童一人一人の工夫や努力を教師が実感できる複式学級では、よりきめ細やかな指導が可能です。



### ■ Point 3

- ① 児童一人一人の音楽に対する経験や好みなどを把握するとともに、個々の学習ペースを大事にした弾力的な指導を展開する。
- ② 児童一人一人の思いや能力を生かすことのできるような教材を選択・開発し、多様な学習内容や活動の進め方を用意する。
- ③ 活動のめあてや課題などを、教師と児童のコミュニケーションの過程の中で、一人一人の現状や願いに合わせて見付け、工夫して設定する。
- ④ 教師の愛情ある関わり方、共感的な支援の仕方を工夫する。

**第1・2・3学年による合同音楽学習の取組例**  
 題材「リズムにのってがっきてたのしくあそぼう」 教材「おまつり」

| 次 | 時 | 学習内容  | 主な学習内容  |
|---|---|---|---|
| 一 | 1 | おまつりへの関心を高めながら、楽しく歌う。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         ○Answer 2から<br/>                         題材全体を見通した課題を児童と一緒に立てましょう。                     </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「おまつり」の歌に親しむ。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴唱を通して旋律を覚えて歌う。</li> <li>・ 歌詞の意味を理解し、様子を想像しながら歌う。</li> <li>・ 歌う姿勢や発声・発音に気を付けて歌う。</li> </ul> </li> <li>○ リズム伴奏をしながら歌う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リズム打ちを手拍子で練習する。</li> <li>・ 拍の流れを感じ取りながら、リズム伴奏に合わせて歌う。</li> <li>・ 題材全体の学習計画を立てる。</li> </ul> </li> </ul>   |
|   | 2 | おはやしの練習をする。<br><br>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おはやしを付ける。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生はリコーダーで(音色や運指、リズムに気を付ける。)</li> <li>・ 2年生は手拍子、打楽器で</li> <li>・ 1年生は掛け声、打楽器で</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">                         ○Answer 3から<br/>                         一人一人に合ったきめ細やかな指導を行いましょう。                     </div> <p>※ 各学年の児童が、どのようなリズムや旋律のパターンを演奏するのかを音符などで例示する。</p> |
| 二 | 3 | おはやしを工夫してつくる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         ○Answer 1から<br/>                         一人一人の思いやイメージを生かしましょう。                     </div>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おはやしをつくる。(縦割りグループ毎に)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生はリコーダーで</li> <li>・ 2年生は鍵盤ハーモニカ、手拍子、打楽器で</li> <li>・ 1年生は鍵盤ハーモニカ、掛け声、打楽器で</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">                         ○Answer 3から<br/>                         自分の課題解決に向かって自由な発想ができるように支援しましょう。                     </div>                                    |
|   | 4 | つくったおやはしを入れながら楽しく演奏する。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         ○Answer 2から<br/>                         よさの学び合いができるようにしましょう。                     </div>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おはやし、リズム伴奏を入れて楽しく演奏する。(1・2・3年各一人のグループで協力し合って演奏する。)</li> </ul>   |

# 図画 工 作

- 題材間の関連を図った指導計画をたてましょう。
- 評価規準をできるだけ明確にしましょう。
- 個に応じた指導を工夫しましょう。

## Q9

複式学級において年間指導計画を作成する場合、題材を配列するとき、どのようなことに留意したらよいでしょうか。

**A** 題材の評価規準をもとに、4つの伸ばしたい資質・能力がバランスよくはぐくまれるように配列しましょう。また、資質・能力が次の学習においても働き伸ばすことができるように、題材間の関連を図ります。

### 年間指導計画作成のPoint

#### 完全複式

目標や指導内容が2学年まとめて示されているメリットを生かし、教科書の上下で24ヶ月のカリキュラムを作成しましょう。

題材の評価規準をもとに、伸ばしたい資質・能力が共通するような異題材・同領域などで配列しましょう。

#### 変則複式

### 例 2年生と3年生の複式の「異題材・同領域」の場合

資質・能力が  
発展して伸びる  
ように設定する。

| 学期       | 時間            | 題材名と学習の<br>主 題    | 題 材 の 評 価 規 準                           |  |                                     |                                |
|----------|---------------|-------------------|---|--|-------------------------------------|--------------------------------|
|          |               |                   | 関 心 ・ 意 欲                               | 発 想 ・ 構 想                                | 創 造 的 技 能                           | 鑑 賞 の 能 力                      |
| 1<br>学期  | 6<br>A表現(2)絵  | <2年生><br>おはなし大すき  | 物語やお話を絵に表す面白さに気づいている。                   | 物語やお話を聞いて場面を空想し、表したい場面を考える。              | 物語やお話から空想したことが表せるように工夫する。           | かいた絵の面白さに気づいたりして楽しく見る。         |
|          |               | <3年生><br>主人公になって  | 物語やお話の楽しかったことや驚いたことを絵に表す面白さを感じ取ろうとする。   | 物語やお話的主人公の様子や気持ちになって、想像の世界を空想して絵に表そうとする。 | 発想や構想に基づいて、形を変えたり、付け加えたりして表し方を工夫する。 | かいた絵の面白さやよさについて話し合うなど関心をもって見る。 |
| 22<br>時間 | 2<br>A表現(2)立体 | <2年生><br>おしたりぬいたり | 粘土の板に型抜きや型押しを楽しもうとする。                   | 型抜きや型押しをした粘土の板から発想をして、表したいものを思い付く。       | できた模様や形の組み合わせをいろいろ試したり工夫したりして表す。    | 作品を見せ合い、お互いのよさを見つけ発表する。        |
|          |               | <3年生><br>つけたしつけたし | 塊の中から取り出した粘土を形を変えて、いろいろくっつける操作を楽しもうとする。 | つけたしの操作の繰り返しから発想を広げイメージをふくらませる。          | つくりながら作品を見直して新たな試みや工夫をして表そうとする。     | 作品を見せ合い、お互いの感じの違いなどについて話し合う。   |

# Q10

指導と評価の一体化を図るための指導計画はどのような点に留意して作成すればよいでしょうか。

題材の指導計画に学習における具体的な評価規準を位置付けるとともに、作品ばかりでなく、学習過程における児童の活動を多様な方法で時間をかけて読み取る計画を立て、一人一人に適した支援が行われるようにします。

## Point 1

生きる力を育むための指導と評価の工夫改善を進めるためには、常に児童の造形表現活動に関心を持ち、共感的に受け止め、児童の活動に寄り添った支援を進めることが大切です。

### <これまでの問題点>

- 題材=「作品づくり」の考え方
- 完成作品(結果)中心の評価
- 視覚的表現の技量、作業量、丁寧さなど量的な技術・技法の追求
- 絵・工作偏重の指導計画
- 主観的な評価

### <改善の視点>

- 過程における造形的追求体験の重視
- 様々な場面や角度から多様な評価
- つくり、つくりかえるなかでもてる力を働かせている学びの質的な評価
- 表現領域相互の関連と鑑賞の重視
- 4つの観点から資質能力の実現状況を見た客観的な評価

## Point 2

### <評価場面・評価方法の検討>

評価規準をもとに、学習過程を大切にしながら多様な評価を行い、一人一人のよさや可能性、進歩の状況を時間をかけてとらえます。

### 教師による評価情報の収集

- ・ 児童のつぶやき等、発話記録
- ・ 表情、動作等の行動観察
- ・ 写真やビデオ等活動過程の映像記録
- ・ 児童の作品
- ・ 材料箱の収集内容
- ・ 図工以外でのエピソード記録

### 児童自身による評価情報の収集

- ・ 学習カードによる自己評価
- ・ メッセージカードによる相互評価
- ・ デジタルカメラ等による映像情報
- ・ 材料箱への材料収集
- ・ 「図工あしあと袋」(作品、メモ、アイデアスケッチ等)・・・ポートフォリオ

## 指導と評価の一体化を図った指導計画

1. 題材名 「ふしぎな森の世界をのぞいたら」 2・3年生 A表現(2)
2. 学習の主題: 厚紙、紙粘土、板切れ、布など身近ないろいろな材料をつなげたり(2年:②)、組み合わせたりして(3年:③)使い、自分の想像の世界をもてる力を総合的に働かせて絵や立体に表す。
3. 指導計画と具体的な評価規準(7時間)

| 時間       | 題材名と学習の主題                              | 評価規準・評価方法   |  |   |   |
|----------|--|---|--|---|---|
|          |  | 関心・意欲   | 発想・構想  | 創造的技能   | 鑑賞の能力                                       |
| 事前       | 教師の予告により身の回りの材料の形や色に関心を持ち集める。          | 身の回りから材料となりそうな物を選んで見つけようとする。<br>(材料箱)                       |  |   |   |
| おもつ(1時間) | 材料を触ったり並べてみたりしながら、どのような思いを絵や立体にするか考える。 | 集めた材料に関心を持ち、つなげたり②、組み合わせたりする③活動を楽しんでいく。(活動)←                | 材料を様々につなげたり②、組み合わせたりして③思いをふくらませ、表したいことを思いつく。 | 材料や用具を遣って、いろいろな表し方を試し材料の感じやよさを体験する。(活動)                 | 教師の例示や友達の活動の様子から、材料のよさや特徴に気付く。(表情・つぶやき)     |
| あらわす     | 材料を並べたり組み合わせたりしながら、思いついたことを絵や立体にしてい    | 材料をつなげたり②組み合わせたりして、③おもしろい感じになることに気付き、楽しみながら表そうとする。(活動・つぶやき) | 絵に表すものの形や色、材料の組み合わせの美しさや用途などを考える。(活動、聞き取り)   | 表し方や材料、用具などを自分で選んだり、つなげ方②組み合わせ方④を工夫したりしながら表現する。(活動、作品)← | 友達の活動の様子からその表現のよさや材料の使い方の工夫などに気付く。(観察、つぶやき) |

学年毎に評価規準を設定する。

学習過程での造形体験を大切に、多様な評価を工夫する。

絵や立体を選べるなど表現領域の関連を図る。

評価規準は判断基準の(判断の尺度)「B」を想定する。

図画工作

## 造形遊びにおける指導と評価をどう進めればよいでしょうか。

**A** それぞれの学年の児童が、それまで身に付けた力をふまえ、その題材で育成を図る資質能力が、実際に児童の具体的な活動にどのように表れ、確かな力になるかを思い浮かべて評価規準や支援方法を構想しましょう。

### Point 1 児童の生活を見つめることから始めましょう

休み時間など日々の活動の様子から、子どもたちの関心や意欲、造形活動への期待などを読み取り計画を立てていきましょう。

### Point 2 過程を大切にしたい造形遊びを考えましょう

例えば影による造形など必ずしも造形遊びは作品に残る活動ではありません。自ら発見したり気付いたりしていく力を表現活動の中で獲得していく過程が大切です。

### Point 3 年間指導計画の中に造形遊びを位置付けましょう

年間を通じて割り当てただけでなく、暑さ寒さ、風の強い時期、木の茂り方や紅葉の時期などの自然状況と題材のねらいを関連付けて計画を立てましょう。

### Point 4 各学年で育てたい力と題材構成の要点をとらえましょう

**低学年:**身近な自然や人工の材料の形や色に関心をもち、身体全体の感覚を働かせて

**中学年:**材料や場所の特徴や物をつくった経験から発想したり、みんなで話し合ったりして

**高学年:**材料や場所、環境の様子から発想し、よさや美しさを考えて自分のもつ造形的な力を総合的に働かせて

- ・ 多様な材料や新しい環境に触れ、身体全体の感覚を十分に働かせて浸る活動を重視する。
- ・ いろいろな材料の形、色、大きさ、質感などから選べるようにするとともに、自分なりの方法を使って活動のできる、選択の幅のある題材を選定する。
- ・ 身近にない材料や経験したことのない環境から、好奇心や活動意欲、想像力から広げていく活動を重視する。
- ・ 友達と関わりながら材料に働きかけ試行錯誤したり、身体全体の感覚を働かせたりする題材を選定する。
- ・ 自分なりのこだわりをもって、活動方法を決定したり、遊んだりする活動を重視するとともに、よりよい活動を求めて新しいものを生み出す活動を重視する。
- ・ 身体全体を働かせ、行為そのものにひたる活動の中から、徐々に集団とのかかわりや活動のテーマを生み出すことを目指す。



# 全校児童で実施した造形遊びの指導計画例

1. 題材名「夢のマイロード ～魔法大作戦～」1～6年生 A表現(2)
2. 学習の主題: 体育館の前に広がる一本の白い道を全校児童18人で、一人一人のスペースの環境を様々な材料を使って思いのままに変容させる。
3. 指導計画と具体的な評価規準(7時間)

学年ごとに評価規準を設定する。

| 学年  | 評価規準・評価方法                             |   |   |   |
|-----|---------------------------------------|---|---|---|
|     | 関心・意欲                                 | 発想・構想                                   | 創造的スキル                                  | 鑑賞の能力                                   |
| 低学年 | 材料をもとに身体全体を働かせ、造形活動を楽しもうとする。<br><観察>  | 材料の形や色をもとに、表し方を考える。<br><観察>             | 材料を並べる・つなぐ・積むなど身体全体を働かせる。<br><作品>       | 友達の作品を見合いお互いの発想のよさに気付く。<br><学習感想>       |
| 中学年 | 材料や場所をもとに、みんなと楽しい造形活動をしようとする。<br><観察> | 材料の場所や特徴を見つけ、自分なりの発想をする。<br><観察>        | 材料を組み合わせる、切っつけつなぐなど表し方を工夫する。<br><作品>    | 友達の表現から、よさや工夫、自分との共通点や違いに気付く。<br><学習感想> |
| 高学年 | 自分なりの新発想を目指し、楽しい造形活動をしようとする。<br><観察>  | 材料の場所の特徴をもとに、材料を選択して自分らしい表現をする。<br><観察> | 材料の特徴や美しさ、楽しさなどの調和を考えて造形的に構成する。<br><作品> | 友達の表現に共感し、自分なりの考えをもつ。<br><学習感想>         |

図画工作

## 4. 展開の評価の具体例

■支援 ★評価

|     | 学 習 活 動  | 児童のよさを生かす支援・評価   |
|-----|--|--|
| 導 入 | 1. 提案を聞き、学習の見通しをもつ。<br>2. めあてをつかむ。<br><b>夢のマイロード ～魔法大作戦～</b><br><b>「この道にどんどん魔法をかけて楽しもう！」</b> | ・ 早くつくってみたいという気持と豊かな発想が引き出されるように提示する。<br>・ フリーマーケットの紹介・道具等の安全確認。 |

魅力ある題材名と提示の工夫を考える

展  
開

3. 材料を見たりさわったりして、発想し、使いたいものを選び自分のスペースへ運ぶ。

- ・ この木とこの石をきれいに並べてみよう。
- ・ 葉っぱを色別に組み合わせて敷き詰めよう。
- ・ 他に使えるような材料がもっとあるはずだ。

評価Bの児童の具体的な姿を想定すると見とる時のよりどころになる。

★ 材料の形や色をもとに、表し方を考える。

<発・観察>

★ 材料や場所をもとに、みんなと楽しい造形活動をしよとする。

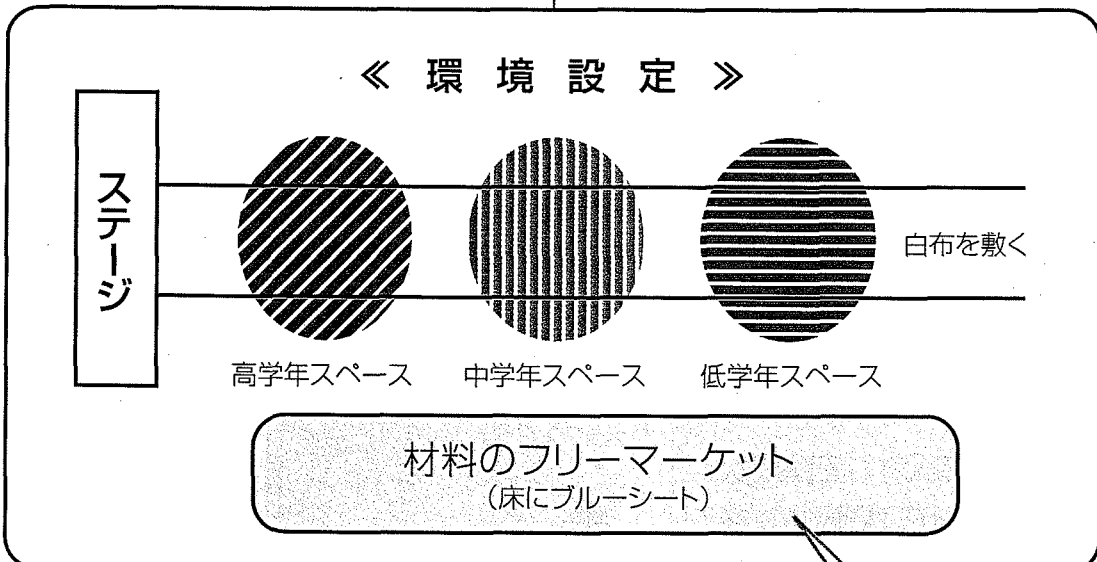
<関・観察>

■ 低学年から巡視を行い、いっしょに考えたりつくったりする。

・ 中学年以上には、共同活動もあることを提案する。

★ 材料を並べる・つなぐ・積むなど身体全体を働かせる。

<創・観察>



4. 夢の道をイメージしながら、並べたりつないだり、新たなことを試みたりして、思いのままに表現を楽しむ。

環境の設定を図示するなど具体的にイメージすると他の指導者にもわかりやすい。

終  
末

5. 夢のマイロード ～魔法大作戦～をみんなで歩いて体験する。

6. 本時の学習のまとめをする。

- ・ 低学年のスペースから出発し、みんなの表現のよいところを心に書き留めるように指示する。
- ・ 本時の感想を記入させる。
- ・ 本時の教師評価を行い、次時への意欲をもたせる。

## ② 基礎・基本を確実に身に付けさせる指導と評価のポイント

Q12

児童のよさを引き出しながら、基礎・基本を確実に身につけさせるための留意点は何でしょうか。

**A** 授業改善の意識が大切です。授業の見直しの主なポイントは1~3のとおりです。

### Point 1 評価規準・判断基準（判断尺度）の見直し

評価規準・判断基準（判断の尺度）の文言が、児童の具体的な姿を思い浮かべられるようになっていることが大切です。その姿が「目指す児童像」ですので、そうなるよう指導の工夫をします。

図画工作科は、2学年のまとまりで目標が設定されていますが、評価規準や判断基準は、上学年と下学年に分けて設定しなければならない場合がでてきます。

また、努力を要する児童を支援する手立ても考えておく必要があります。

Q8及び次項ポイント3参照

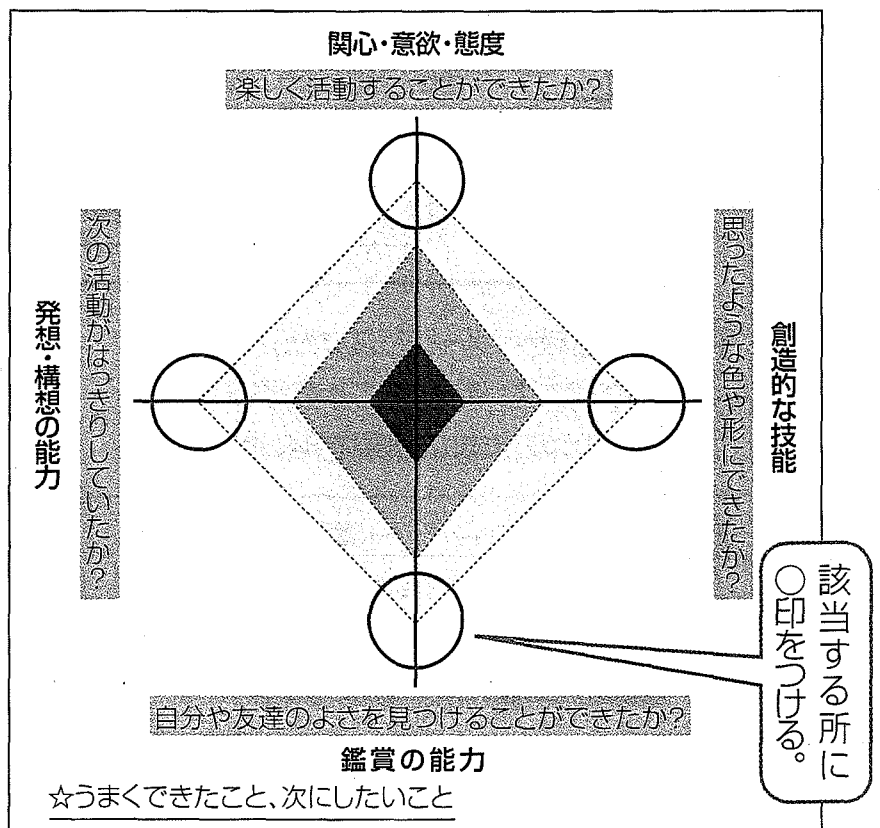
### Point 2 評価方法の見直し

結果でのみの評価から学習過程の評価への意識転換が大切です。そのために、過程を見取ることのできる学習カードを工夫したり、座席表に観察したことを記録したり、デジカメラやVTR等で映像として記録したりすることも必要になってくるでしょう。

また、「生きる力」を育成していくうえで自己評価能力を育てて行くことも大切です。自己評価や相互評価に継続的に取り組ませていくとともに、評価記録の蓄積が大切になってきます。（ポートフォリオ評価の活用 など）

#### 【自己評価カードの例】

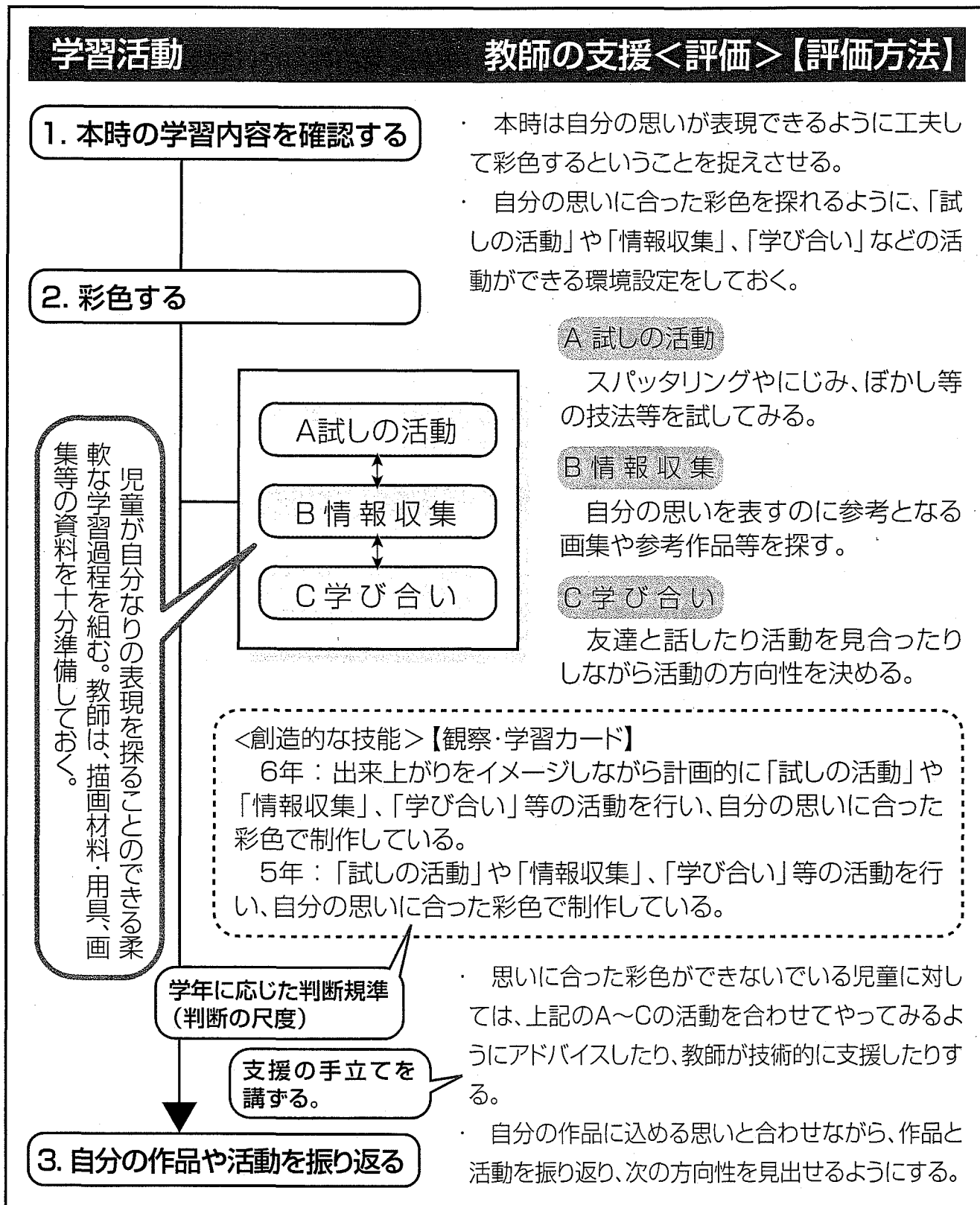
4観点に沿って評価し、蓄積することにより、伸びを実感できるようにしたもの。



### Point 3 学習過程の見直し

学習過程が、個に応じたものになっていることが大切です。個に応ずる場面はたくさんありますが、ここでは同一題材の彩色場面を例にとってみます。(高学年)

#### ● 思いに応じた彩色ができるように試行錯誤の活動を取り入れた学習過程の例 ●



## 少人数でもできる鑑賞指導の例と評価のポイントについて教えてください。

鑑賞指導は、【鑑賞を単独で取り上げて指導していく場合】と、【「A表現」の題材の中で併せて取り上げて指導していく場合】があります。

製作途中の作品も鑑賞の対象としたり、自分たちの作品だけでなく画集や視聴覚教材等を通していろいろな作品を鑑賞できるようにしたりすることが大切です。

また、日頃から校内の作品掲示を充実させておき、作品を見る目を養っておくことも大切です。

### 評価のポイント

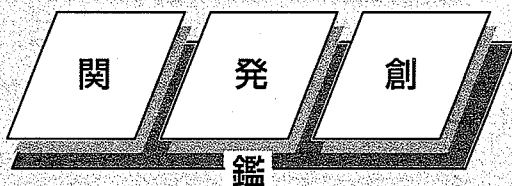
「A表現(1)(2)」の題材の中には、「鑑賞の能力」を育成する内容のものもあり、その場合は、4つの観点で評価規準を設定し評価を行うこととなります。

また、「B鑑賞(1)」の題材の中にも「発想や構想の能力」「創造的な技能」の育成にかかわるものもあり、その場合には「造形への関心・意欲・態度」と「鑑賞の能力」だけでなく、4つの資質能力の評価基準を設定し評価を行うこととなります。

### <4つの評価の観点と「A表現」「B鑑賞」の関連イメージ図>

#### 【A表現(1)(2)】

「A表現」の題材の中で併せて取り上げていく場合



造形対象から働きを受けているという意味で「鑑賞の能力」は3つの資質能力と分けがたく関連している。

#### 【B鑑賞(1)】

鑑賞を単独で取り上げていく場合



鑑賞の活動においても「発想と構想の能力」と「創造的な技能」は働き続ける。

1. 題材名 「すてきなものみつけた!」(5・6年生:同一題材)
2. 指導時間数 4時間
3. 題材のねらい

身の回りにある様々なものの色や形の面白さに気付き、気に入ったものを写真に写すことができる。また、互いの写真を見合い、様々な見方があることやそのよさについて認め合うことができる。

4. 題材の評価規準と判断基準 [ここでは工③についての判断規準 (判断の尺度) を示す。]

| 評価規準   |  |
|--|--|
| B鑑賞(1)   |  |
| ア 造形への関心・意欲・態度   | 工 鑑賞の能力  |
| ① 身近な自然、文房具、家庭用品を、楽しく関心をもって見る。<br>② 見慣れたものを、いつもとは違う角度から見るなど違う見方をすると、新たな発見があるということに気付く。<br>③ 自分なりの表現意図をもち、写真に写すことの楽しさ面白さを味わう。 | ① 作品例から感じ取ったことや、自分が見つけた形によさを伝える。<br>② 友達の写真を見たり考えを聞いたりし、自分のものと比べながらそのよさを感じ取り、共感する。(発)<br>③ 自分が見つけた色や形などの造形的なよさを写真に撮る。(創) |

| 判断基準(上記工③のもの)   |  |   |
|---|--|---|
| 十分に満足できる(A)   | おおむね満足できる(B)                                       | 努力を要する(C)への手立て  |
| 校舎内外の風景から、自分なりに美しい、面白いと思った色や形などを見つけるためにいろいろな見方を探究し、それらを次々に写真に撮り集めている。 | 校舎内外の風景から、自分なりに美しい、面白いと思った色や形などを見付け、それを写真に撮り集めている。 | その子なりの見方に自信をもたせるよう励ます。物を見るときや写真を撮るときに角度や距離などの具体的なアドバイスをする。友達の活動を参考にさせる。 |

5. 学習の流れと評価計画 (「評価」の青文字は重点的に見る項目)

| 時間 | 学 習 活 動   | 評 価                                      |
|----|---|--|
| 1  | ○ 参考作品等を見て感じたことを話し合う。<br>参 考 星川ひろ子作品、教科書:開隆堂「美しい色、たのしい形」、日文「ぞう作品等 けいずかん」など<br>「校舎の窓が目や口に見えるね」「笑っている感じがするね」<br>「話しているようにもみえるよ」<br>『見方を変えると、おもしろいものきれいなものがたくさん見付けられるよ』<br><b>いい色や形だなあ、おもしろいなあ、と思うものをたくさん見付けて友達に紹介しよう。</b> | ア ①<br>工 ① ②<br>【 観 察 】<br>【学習プリント】      |
| 2  | ○参考作品等を見て感じたことを話し合う。<br>「マンホールの蓋も顔に見えるよ」<br>○見付けた面白い造形を写真に工夫して撮る。<br>「角度を変えて撮ってみよう」「距離はこれくらいからがいいかなあ」<br>※グループ活動や課外活動も考えられる。<br>※子どもの撮った写真を現像しておく。  | ア ① ② ③<br>工 ③<br>【 観 察 】<br>【学習後のアンケート】 |
| 1  | ○自分の撮った写真を見て、題名やコメントを添える。<br>『ふきだしを書いてみるとおもしろいよ』<br><b>作品を見合って、感想を伝え合おう。</b><br>○見付けた面白い造形を写真に工夫して撮る。<br>「こんなふうに見えたんだね」「ぼくと同じ見方だ」<br>※感想は、「感想カード」や付箋紙に書き合い、記録として残るようにしておく。  | ア ① ②<br>工 ① ②<br>【 観 察 】<br>【感想カード、付箋紙】 |

このような子どもたちの言葉を付箋紙等にかき、互いに学び合うことができるようにしておく。

次時までに掲示しておき、互いの写真を合わせるようにしておく。

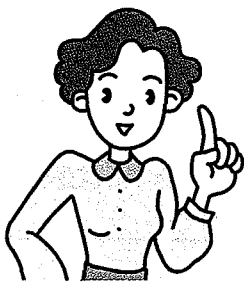
# 家庭

- 実践的・体験的な学習活動を通して家庭生活への関心を高めさせましょう。
- 家庭生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせましょう。
- 家族の一員としてよりよい生活を工夫しようとする態度を育てましょう。

Q14

年間指導計画を作成する場合、どのようなことに留意すればよいでしょうか。

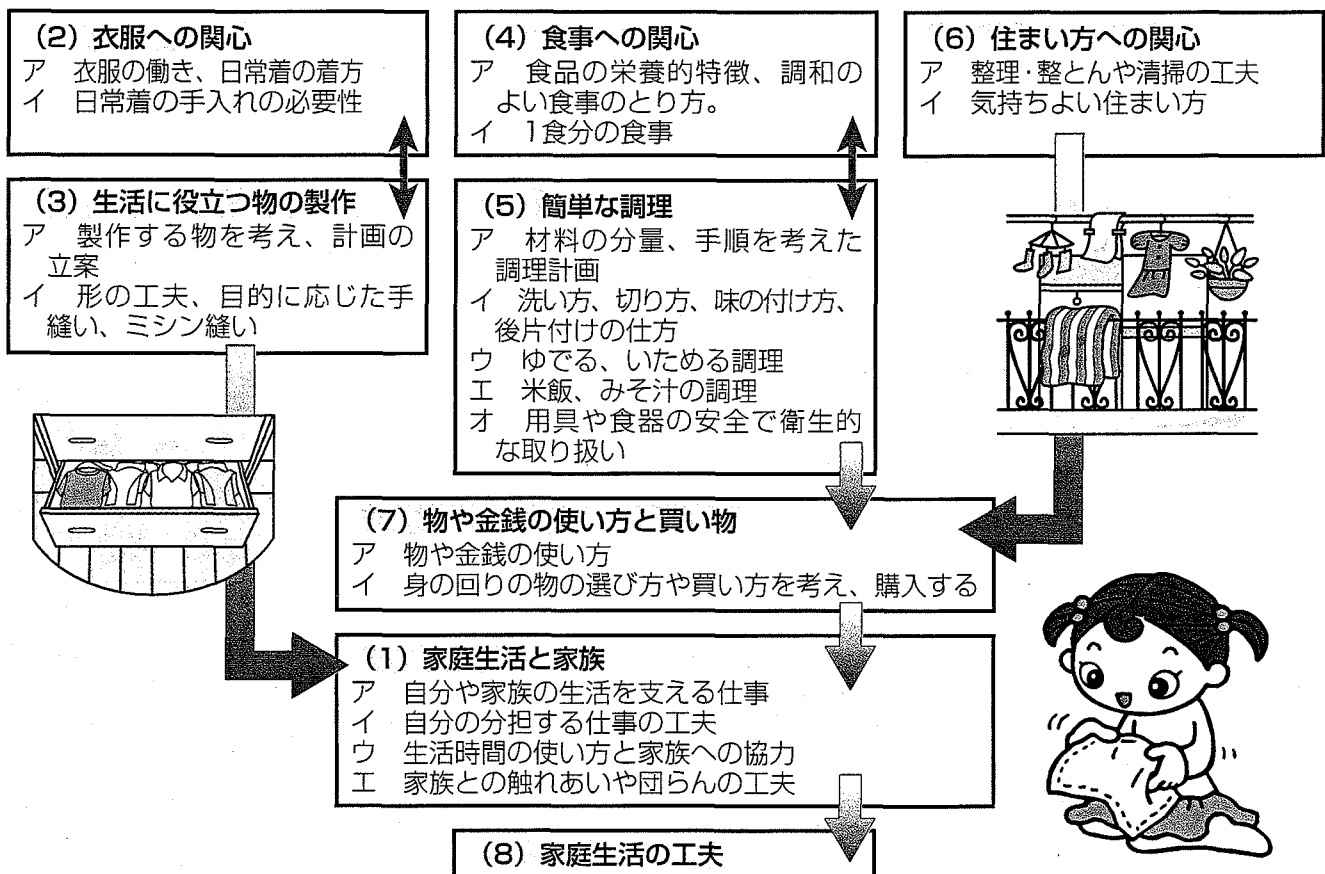
**A1** 複式の年間指導計画を作成する上でのポイントは次の3点です。



- ① 学習指導要領では、目標及び学習内容を2学年まとめて示しているので、2学年を見通した題材を構成し、家庭科で付けたい資質や能力が育成できるような配列になっているかを内容確認表（チェックリスト）で確認します。
- ② 第5、6学年では授業時数が違うので、時数差への配慮が必要です。
- ③ 同題材同内容による繰り返し案、A・B両年度案、折衷案などの学習指導の類型から、地域や児童の実態を考慮して選択します。

**A2** 8つの内容項目の相互関連を図りながら、総合的な視点で家庭生活を学習できるよう、題材配列を行います。

【内容項目の関連図】



### 年間指導計画の例

| 学年<br>月          | 第5学年(60時間)                              | 第6学年(55時間)  |
|------------------|---|---|
| 4                | ○ 学年オリエンテーション (0.5)                     | ○ 学年オリエンテーション (0.5)                               |
| 5                | ○ 生活を見つめよう (2.5)                        | ○ 計画的な生活を送ろう (2.5)                                |
| 6                | ○ 運動会の玉作り<br>—手縫いで— (5)                 | ○ 運動会の玉作り<br>—ミシン縫いで— (5)                         |
| 7                | ○ わたしの自慢の一皿 (10)                        | ○ ご飯とみそ汁を作ろう (10)                                 |
| (23)             | ○ 林間学校グッズを作ろう<br>—手縫いで— (5)             | ○ 修学旅行グッズを作ろう<br>—ミシンを使って— (5)                    |
| 8<br>9           | ○ 快適な着方(6) (A年度)                        | ○ 快適な住まい方をめざして(6) (B年度)                           |
| 10<br>12<br>(25) | ○ 私の朝食づくり (8)                           | ○ 家族のための献立作り (8)                                  |
|                  | ○ 読書の秋 (11)<br>—本カバーを作ろう—               | ○ 生活を楽しくする物を作ろう (11)<br>—布を再利用しよう—                |
| 1<br>2           | ○ 6年生へ感謝を込めて (10)<br>(製作—ペンケース、マスコットなど) | ○ 家族へ感謝の気持ちを込めて (5)<br>(製作—弁当包み、買い物袋など)           |
| (12)<br>(7)      | ○ 1年を振り返って<br>出来るようになったことを<br>発表しよう (2) | ○ 2年間の学びを振り返って<br>家族や近隣の人々のために<br>出来ることを発表しよう (2) |

#### ※内容確認表 [チェックリスト(一部)]

| 内容<br>題材     | (1)<br>家庭生活<br>と家族 | (2)<br>衣服への<br>関心 | (3)<br>生活に役<br>立つ物の<br>製作 | (4)<br>食事への<br>関心 | (5)<br>簡単な<br>調理 | (6)<br>住まい方<br>への関心 | (7)<br>物や金銭<br>の使い方<br>と買い物 | (8)<br>家庭生活<br>の工夫 |
|--------------|--------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|------------------|---------------------|-----------------------------|--------------------|
| 生活を見<br>つめよう | ○                  |                   |                           |                   |                  |                     |                             |                    |
| 運動会の<br>玉作り  |                    |                   | ○                         |                   |                  |                     |                             |                    |
| わたしの<br>朝食作り |                    |                   |                           | ○                 | ○                |                     |                             |                    |



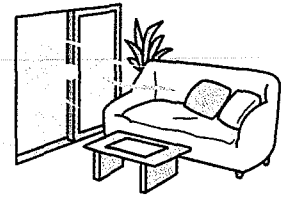
複式学級のよさを生かした指導計画・評価計画をどのように作成するとよいでしょうか。

**A1** ここでは、「住まい方への関心」の学習における指導のポイントを挙げます。

【指導・評価計画（一部抜粋）】

| 次 時                    | 学習目標  | 学習内容   | 指導及び留意点  | 評価・評価方法   |
|------------------------|---|--|--|---|
| Ⅱ<br>暖かい住まい方<br><br>課外 | 1<br>○ 日光の動きが分かる。<br>○ 暖かく住むための自己課題をもつことができる。 | 1 日光の動きについて調べる。<br>2 住まいと日光の関係についてまとめる。<br>3 暖かい住まい方について自己課題を設定する。 | ・ 全体課題「日光の利用」を通し、自己課題設定に導く。<br>・ 様々な日光の動きについて考えさせながら、日光が暖房の役割も担っていることを理解させる。 | ○ 暖かく住むための自己課題を設定しようとしているか。<br>（関心・意欲・態度）<br>・ 学習プリント<br><br>○ 日光の動きが理解できたか。<br>（知識・理解）<br>・ 学習プリント   |
|                        | 2<br>○ 暖かい住まい方について考えることができる。                  | 1 自分の課題解決のための追究活動を行う。<br>2 自分の家で実践できることを考える。                       | ・ 課題は子ども一人一人の家庭環境に応じた内容にさせる。<br>・ 課題や追究方法などを把握しておく。                          | ○ 暖かい住まい方について自分なりに工夫しようとしているか。<br>（創意工夫）<br>・ 活動の様子   |
|                        | ○ 学習内容を家庭での実践につなげる。                           | 1 自分が考えたことを各家庭で実践する。   | ・ 実践方法を把握しておく。   |   |
| Ⅲ<br>換気の仕方             | 1<br>○ 住まいにおける換気の必要性が分かる。                     | 1 換気について話し合う。<br>2 換気の必要性について話し合う。<br>3 家庭での生かし方を考える。              | ・ 科学的な実験や資料を通して学習を展開する。<br>・ 家族が気持ちよく過ごせるための工夫を考えさせ、家で実践できるようにする。            | ○ 換気の必要性について理解できたか。<br>（知識・理解）<br>・ 発表<br><br><div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">次ページの学習指導案へ</div> |
|                        | 2<br>○ 換気について自己課題を立てることができる。                  | 4 換気について自己課題を設定する。   | ・ 児童がより深めたいことを確認し、自己課題を立てさせる。<br>・ 生活に生かせる内容にしたい。                            | ○ 換気について自己課題を設定できたか。<br>（関心・意欲・態度）<br>・ 学習プリント  |
|                        | 3<br>○ 換気の仕方について考えることができる。                    | 1 自分の課題解決のための追究活動を行う。<br>2 自分の家で実践できることを考える。                       | ・ 課題は児童一人一人の家庭環境に応じた内容にさせる。<br>・ 課題や追究方法などを把握しておく。                           | ○ 換気の仕方について自分なりに工夫しようとしているか。<br>（創意工夫）<br>・ 活動の様子   |
|                        | 4<br>○ 学びを生活に生かすことができる。                       | 1 追究活動や実践結果を交流する。<br>2 家での生かし方をまとめる。<br>（暖かい住まい方・換気の仕方）            | ・ 各自の家での生かし方について確認する。<br>・ 児童相互の学びを大切にしたい。                                   | ○ 学習内容を生活に生かそうとしているか。<br>（関心・意欲・態度）<br>・ 追究活動結果   |

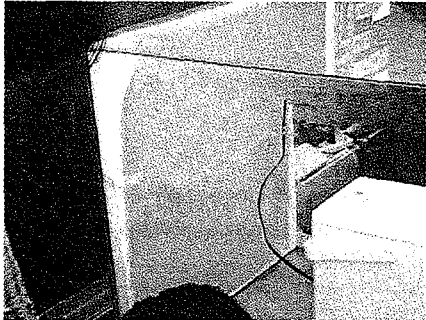
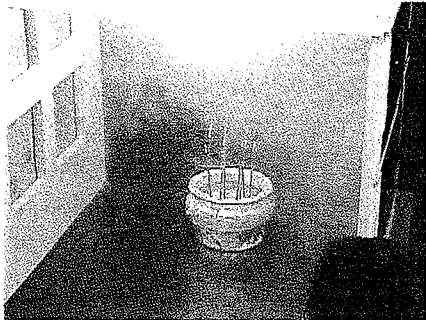
【展開例及び評価規準 「気持ちのよい住まい方」】



(1) 目標

快適に過ごすためには、換気が必要であることを理解する。(知識・理解)

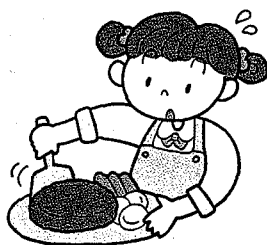
(2) 展開

| 課程                    | 学習活動と学習内容   | 指導上の留意点  | 資料等                            |
|-----------------------|---|--|--------------------------------|
| 課題をもつ<br><br>見通しを深める  | <p>1 問題把握をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暖かく住もうための方法や工夫について思い出させる。</li> </ul>   |  | 実験具<br><br>学習プリント<br><br>自己評価表 |
|                       | <p style="text-align: center;"><b>換気について考えよう</b></p> <p>2 家庭内の湿気のたまる場所について話し合う。</p> <p>3 換気の必要性について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結露による被害</li> </ul> <p>写真③</p>  <p>4 風通しをよくする方法について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>窓と通風</li> <li>室内気流</li> </ul> <p>写真④</p>  | <p>・ 暖房器具で暖かくすることで、住まいに起きることについて焦点化する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>塩化コバルトで染めた布は、乾燥しているときは水色だがガラスボックスの中の湿気でピンク色に変色する。</p> <p>T: どこからピンク色に変わり始めたかな?</p> <p>C: 周りから…</p> <p>T: 周りって?</p> <p>C: 床や壁や天井や…。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教師は左側の開口部だけを開ける。</p> <p>T: 煙は出ているかな?</p> <p>C: 出ていない!</p> <p>次に教師は右側下部の開口部を開ける。</p> <p>T: 空気と煙の動きはどうなっているかな?</p> <p>C: 空気は下に入ってぐるぐる回りながら上って左の窓から出ていく…。</p> </div> |                                |
| 本時の評価規準               | <b>判断基準 (判断の尺度)</b>   |  |                                |
|                       | 十分満足できる (A)   | おおむね満足できる (B)  | 努力を要する児童への支援 (C)               |
| 住まいにおける換気の必要性を理解している。 | 換気の必要性を理解し、自分の住まいと関連させて、生活への影響や快適に住まう工夫についての知識を身につけている。   | 快適に過ごすためには、換気が必要であることを理解している。  | 実験の試料を示し、湿気や風通しについて個別に説明する。    |

Q16

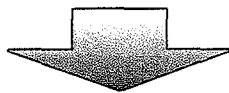
基礎・基本を確実に身に付けさせるためのポイントは  
何でしょうか。

**A1** 育てる資質・能力の明確化を図ることが大切です。



家庭科における基礎・基本とは

- ① 家庭生活への関心や理解
- ② 日常生活に必要な基礎的スキルと活用能力
- ③ 生活をよりよくしようとする態度



家庭科で育成する資質や能力とは

- (1) 家庭生活に関心をもつこと（人・物・ことに関連）
- (2) 日常生活に必要な知識やスキルを活用できること
- (3) 家庭生活に関する課題をもち、それを追究する意欲や態度をもつこと
- (4) 学んだことを家庭で実践する意欲と態度をもつこと
- (5) 家族や人とのかかわりを考え、家庭生活を大切に思う心を育むこと

**A2** 題材の評価規準を作成し、それに基づいて実現状況を評価することが必要です。

「家庭生活と家族」の評価規準の具体例

| 家庭生活への<br>関心・意欲・態度  | 生活を<br>創意工夫する能力   | 生活の技能   | 家庭生活についての<br>知識・理解  |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭の仕事に関心をもっている。</li> <li>・ 自分の分担する家族の仕事に取り組もうとしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭の仕事を見直し、自分の分担する仕事について考えた</li> <li>り、自分なりに工夫したりしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や家族の生活を支えるための仕事を分担することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭には、自分や家族の生活を支える仕事がある事を理解している。</li> <li>・ 家族の一員として仕事を分担することについて理解している。</li> </ul> |

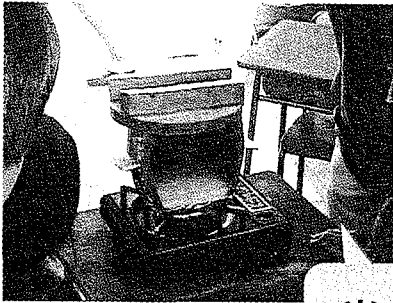
**A3** 複式学級における学習指導の特質を生かします。

- ① 個別指導が行われやすいので、児童が主体的に学習できるよう問題解決的な学習を充実させます。
- ② 2学年の協力的な関係を大切にし、お互いを認めあう学習になるよう工夫します。
- ③ 調査・観察・実習などの実践的・体験的な学習活動を取り入れます。
- ④ 学習したことを他学年との交流学習に生かします。

# A4 児童が興味・関心を示す教材開発を行います。

## 【食事への関心 〈ごはんのみそ汁〉】

写真①



半切釜

写真②

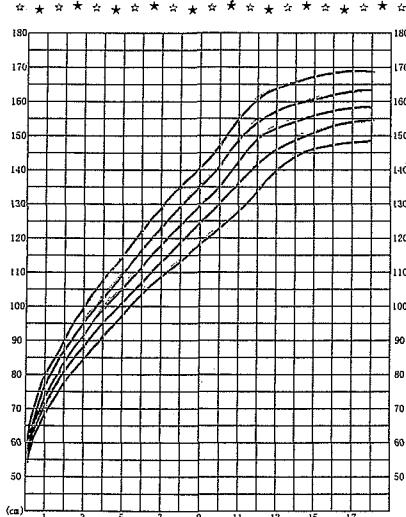


お米がご飯になる瞬間  
 ・水の通り道ができたよ  
 ・あっ！ご飯に！！

## 【家庭生活と家族 〈わたしの成長と家族〉】

資料①

わたしの成長曲線 5年 組 名前 \_\_\_\_\_



横断的標準成長曲線(女)

| 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |

### 横断的標準成長曲線

わたしの将来の身長は？

- ・ここまで成長できたのは家族のおかげです。
- ・予測身長になるためには、何が必要なのかな？
- ・バランスのよい食事かな？

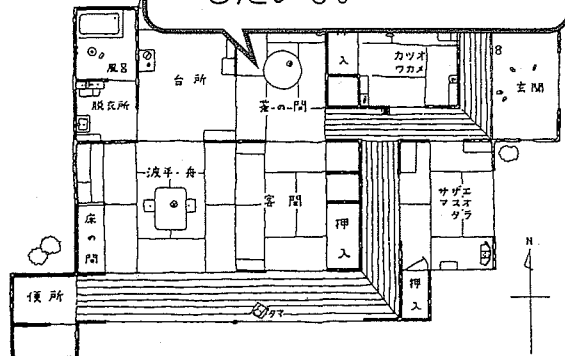
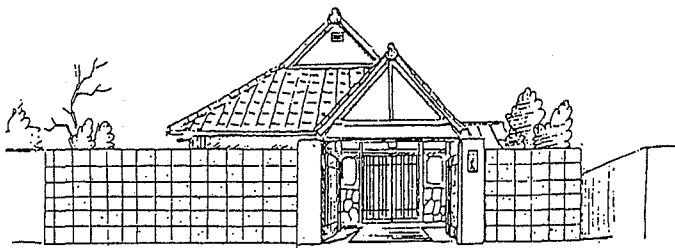


この部屋の明かりは？

- ・茶の間だから明るくしたいな。

## 【住まい方への関心 〈気持ちよい住まい方〉】

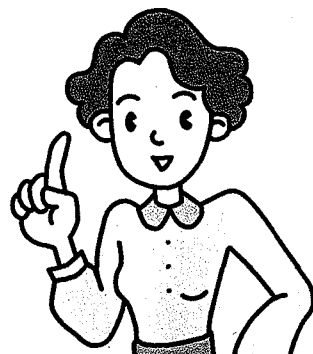
資料②



Q17

複式学級のよさを生かした指導は、どのように行えばよいでしょうか。

**A1** 新学習指導要領では、学習内容を2学年まとめて示されており、地域や学校、児童の実態に応じて、弾力的に学習指導が展開できるように配慮されています。  
この意図を生かして同単元同内容の学習という考え方で進めるとよいでしょう。



【題材例】運動会グッズを作ろう！（同単元同内容）

家庭生活や学校生活に役立つ小物を布を用いて製作することにより、作る楽しさを味わうとともに製作に関する基礎的な技能を身に付けることができる。

5年

6年

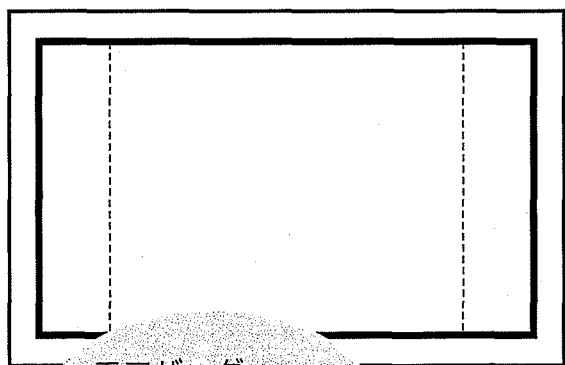
○手縫いによる製作

- ・ 手縫いの小物の製作に関心を持つ。
- ・ 場所に応じた縫い方を考え、自分なりに工夫して製作をする。
- ・ 布を縫い合わせて小物作りができる。
- ・ 手縫いによる簡単な縫い方を理解する。

○ミシン縫いを生かした製作

- ・ ミシンの製作に関心をもち活動する。
- ・ ミシン縫いの特徴を生かし、縫い方を考えたり、自分なりに工夫したりする。
- ・ 直線縫いをすることができる。
- ・ ミシン縫いの特徴を理解する。

運動会用 玉作り



この縫い代を5年生は手縫いで、6年生はミシン縫いで仕上げます。作品は運動会で使います。

5年生も実態に応じて、ミシン縫いを取り入れることができます。

- ・ エコバッグ
- ・ エプロン
- ・ カバー など

「家庭生活に役立つ物の製作」

- ・ コースター
- ・ ティッシュケース
- ・ 小銭入れ など

## A2 評価を工夫しましょう。

目標に準拠した評価が重視されることから学習過程の評価を大切にすることがあります。また、相互評価を工夫し、お互いに学べる場面を設定しましょう。

### 家庭科学びカード例

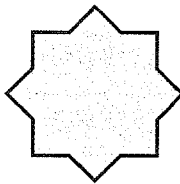
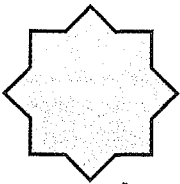
○今日の学習

○今日の学習でわかったこと

○生活に生かしたいこと

○ペアへ一言どうぞ！

○友達からのメッセージ



○先生から

付箋も活用できます。

### 自己評価例

| 時 | 評価項目                         | 評価 |
|---|------------------------------|----|
|   | 身の回りにある布で作られたものを進んで調べられましたか？ |    |
|   | ミシン縫いのよさがわかりましたか。            |    |
|   | ミシン縫いや手縫いを取り入れ縫い方を考えましたか。    |    |
|   | ミシン縫いを使って直線縫いができましたか。        |    |
|   | 布の端の始末の仕方がわかりましたか。           |    |
|   | 縫い方を工夫して作品を作ることができましたか       |    |
|   | 友達の学びを自分の学習に生かすことができましたか。    |    |

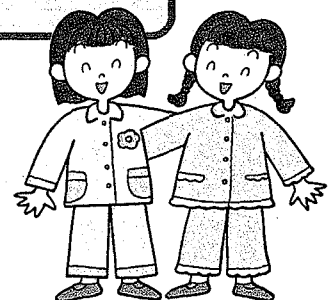
4・3・2・1で自己評価します。

(一部記載)

作品や活動の様子の写真を貼ることもできます。

玉結びを何回練習してもできなかったんだけど、コツを教えてくれてありがとう。A子さんはミシンをがんばってください。私もやってみたいです。

(5年生から6年生へのメッセージ)



# 体育

- 心と体を一体としてとらえて授業を展開しましょう。
- 自ら学び、自ら考える力を育てるために、運動の学び方を身に付けさせましょう。
- 保健領域では、健康・安全に関する実践的な理解をより深めましょう。

Q18

合同体育を実施するときの指導計画は、どのような点に留意して作成すればよいでしょうか。

**A** 内容の取扱いに注意して、施設、用具などの状況と児童の実態に応じた指導計画を作成しましょう。

## 運動の学び方

- 低学年 運動の仕方を知る。活動や規則を工夫することができるようにする。
- 中学年 自己(チーム)の能力に適した課題をもつ。課題の解決の仕方を工夫することができるようにする。
- 高学年 自己(チーム)の能力に適した課題を決める。課題の解決の仕方を工夫することができるようにする。

## ゲーム・ボール運動

| 領域     | 内容                | 内容の取扱い       |    |    |        |        |    |                                       |
|--------|-------------------|--------------|----|----|--------|--------|----|---------------------------------------|
|        |                   | 1年           | 2年 | 3年 | 4年     | 5年     | 6年 |                                       |
| ゲーム    | ボールゲーム(1・2年)      | 必            | 必  |    |        |        |    |                                       |
|        | ボールゲーム            | バスケットボール型ゲーム |    |    | いずれか   |        |    | それぞれの運動の特性に応じ、学年差、個人差を配慮した計画を作成しましょう。 |
|        |                   | サッカー型ゲーム     |    |    | いずれか   |        |    |                                       |
|        |                   | ベースボール型ゲーム   |    |    | いずれか   |        |    |                                       |
|        |                   | バレーボール型ゲーム等  |    |    | 加えて指導可 |        |    |                                       |
| その他の運動 |                   |              |    |    |        |        |    |                                       |
|        | 鬼遊び(1・2年)         | いずれか         |    |    |        |        |    |                                       |
| ボール運動  | バスケットボール          |              |    |    |        | いずれか   |    |                                       |
|        | サッカー              |              |    |    |        | いずれか   |    |                                       |
|        | ソフトボール又はソフトバレーボール |              |    |    |        | 扱わないも可 |    |                                       |
|        | ハンドボール等その他のボール運動  |              |    |    |        | 加えて指導可 |    |                                       |

- 必 …必ずその学年で指導する。
- いずれか …いずれかの学年で指導する。
- 加えて指導可 …地域や学校の実態に応じて加えて指導することができる。(あくまでも加えてで替えてではない。)
- 扱わないも可 …地域や学校の実態に応じて取り扱わないことができる。

「いずれか」の内容の取扱いは、児童の実態に応じて扱うようにします。

**A** 年間指導計画を作成するときは、どの領域の内容を合同体育で行うかを考えながら計画しましょう。

**年間指導計画例**

|     | 第1・2学年                                 | 第3・4学年                              |                          | 第5・6学年                      |
|-----|--|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 4月  | 基本の運動<br>器械・器具を使って運動遊び<br>(固定施設) ④     | 基本の運動<br>力試しの運動 ④                   | 基本の運動<br>用具を操作する<br>運動 ④ | 体づくり運動 ④                    |
| 5月  | 基本の運動<br>走・跳の運動遊び<br>(かけっこ・リレー遊び) ⑤    | 基本の運動<br>走・跳の運動 ⑤                   |                          | 陸上運動<br>短距離走・リレー ⑤          |
|     | 表現リズム遊び<br>リズム遊び ⑥                     | 表現運動<br>表現 リズムダンス ⑥                 |                          | 表現運動<br>表現 フォークダンス ⑥        |
| 6月  | ゲーム<br>ボールゲーム<br>(ボール蹴りゲーム) ⑨          | ゲーム<br>ベースボール型ゲーム ⑦                 | 器械運動<br>鉄棒運動 ⑥           | 器械運動<br>鉄棒運動 ⑥              |
|     | 基本の運動<br>水遊び ⑥                         | 保健 ②                                | 保健 ②                     | 保健 ③                        |
| 7月  | 基本の運動<br>水遊び ⑥                         | 基本の運動<br>浮く・泳ぐ運動 ⑥                  | 水泳 ⑥                     | 水泳<br>合同体育可 ⑥               |
|     | ②                                      | ②                                   | ②                        | ②                           |
| 8月  | 基本の運動<br>走・跳の運動遊び(跳び遊び) ⑧              | 基本の運動<br>走・跳の運動 ⑧                   |                          | 陸上運動 ⑧                      |
|     | 基本の運動<br>器械・器具を使つての運動遊び<br>(跳び箱・鉄棒) ⑦  | 基本の運動<br>器械・器具を使つての<br>運動遊び(跳び箱) ⑦  | ⑦                        | ⑦                           |
| 10月 | ゲーム<br>ボールゲーム(ボール蹴りゲーム) ⑧              | ゲーム<br>サッカー型ゲーム ⑩                   |                          | 合同体育<br>ボール運動<br>サッカー ⑩     |
| 11月 | ゲーム ②                                  | ②                                   |                          | ②                           |
|     | 基本の運動<br>器械・器具を使つての運動遊び<br>(マット・平均台) ⑩ | 基本の運動<br>器械・器具を使つての運動<br>(マット・鉄棒) ⑩ | 器械運動<br>マット運動<br>鉄棒運動 ⑩  | 器械運動<br>マット運動 ⑧<br>体づくり運動   |
| 12月 | 基本の運動<br>用具を操作する運動遊び<br>(なわ・輪) ⑤       | 基本の運動<br>用具を操作する運動(なわ・輪) ⑤          |                          | ④<br>保健 ③                   |
|     | ③                                      | ③                                   |                          | ③                           |
| 1月  | 基本の運動<br>力試しの運動遊び ②                    | 保健 ②                                |                          | 保健 ②                        |
|     | ②                                      | ②                                   |                          | ②                           |
| 2月  | ゲーム<br>ボールゲーム(ボール投げゲーム) ⑫              | ゲーム<br>バスケットボール型ゲーム ⑫               |                          | 合同体育<br>ボール運動<br>バスケットボール ⑫ |
|     | ⑫                                      | ⑫                                   |                          | ⑫                           |
| 3月  | 基本の運動<br>表現リズム遊び(表現遊び) ④               | 合同体育<br>表現運動 表現 ④                   |                          | ④<br>学年差を生かした取組の工夫          |

集団的な運動においては、合同体育を取り入れると、その運動の特性に十分触れることができます。

学年差を生かした取組の工夫





保健領域では、それぞれの学年で指導する内容が決められています。

望ましい生活習慣を早期に確立するため、健康の大切さを認識し、健康によい生活の仕方が理解できるようにすることを目指しています。

児童の心身の発育・発達を早期化していることを踏まえ、今までの高学年の内容として示されていた体の発育や発達についての学習が第4学年において示されています。

| 学年   | 項目                    | 目 名   | 授業時数              |
|------|-----------------------|---|-------------------|
| 第3学年 | 「毎日の生活と健康」            | ア 1日の生活の仕方<br>イ 身のまわりの清潔や生活環境   | 8 単 位 時 間<br>程 度  |
| 第4学年 | 「育ちゆく体とわたし」           | ア 体の発育・発達と食事、運動などの大切さ<br>イ 思春期の体の変化   |                   |
| 第5学年 | 「けがの防止」<br><br>「心の健康」 | ア 交通事故や学校生活の事故などの原因とその防止<br>イ けがの手当<br>ア 心の発達<br>イ 心と体の密接な関係<br>ウ 不安の悩みへの対処 | 16 単 位 時 間<br>程 度 |
| 第6学年 | 「病気の予防」               | ア 病気の起こり方<br>イ 病原体がもとになって起こる病気の予防<br>ウ 生活行動がかかわって起こる病気の予防                   |                   |

日常生活で体験する可能性の高い「すり傷、鼻出血、やけど、打撲」等を取り上げ、その応急手当について実習を通して簡単な手当ができるようにします。

家族や先生、友達と話したり相談したりして気持ちを楽にすること、仲間との遊び、運動や音楽で気分を変えるなど具体的な方法を理解できるようにします。

### 保健学習は、集中か分散か？

- 児童が学習した内容をまとまりとして理解できる程度に集中して実施することが大切です。
- 学習過程、学習形態によってその集中のさせ方は異なります。
  - ・ 体験的な学習を中心→体験活動を2単位時間連続
  - ・ 課題解決的な学習を仲間で行う→課題設定1単位時間、課題追究(家庭・放課後に各自で)、まとめ2時間 発表1単位時間

「喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となる」ことを取り上げますが、これらの内容は、生活行動がかかわって起こる病気としてとらえます。



初めての保健学習となるので、身近な生活から問題に気付かせ、楽しく分かりやすい授業になるよう配慮しましょう。

|     | 第3学年  |                                    | 第4学年   |
|-----|---|------------------------------------|--|
| 単元名 | 「毎日の健康と生活」  |                                    | 「育ちゆく体とわたし」  |
| 第1時 | <b>毎日の生活の仕方①</b><br>○ 食事、運動、睡眠の調和のとれた生活を続けることの大切さ。<br>○ 自分の生活の振り返りと課題の把握  | 作業や体験的な活動を展開に入れ、自分で考える時間を確保しましょう。  | <b>育ちゆく体の変化</b><br>○ 一般的な体の変化<br>○ 体の発育・発達の個人差         |
| 第2時 | <b>毎日の生活の仕方②</b><br>○ 自分の課題を解決するための手立て<br>○ これからの生活で実践する意欲をもつ             |                                    | 1学期にまとめて   |
| 第3時 | <b>体の清潔と生活環境</b><br>○ 換気などの生活環境を整えることの大切さ<br>○ 体の清潔を保つことの大切さ              | 換気や手洗いの実験を取り入れ、意欲的に学習できるよう工夫しましょう。 | <b>思春期に起こる体の変化①</b><br>○ 大人の体つき<br>○ 男女の特徴<br>○ 発育の個人差 |
| 第4時 | <b>保健室の働きを知ろう</b><br>○ 保健室は学校保健活動の中心的役割を担っていること<br>○ 学校では様々な保健活動が行われていること |                                    | 2学期後半から3学期   |

養護教諭の協力を得ながら進めてみましょう。

思春期における体の変化は誰にでも起こること、自分と他の人では成長に早い遅いなどの違いがあることなどについて十分に理解できるように配慮しましょう。

それぞれの時期がばらばらに展開されるのではなく、児童に見通しを持たせ、単元としてのまとまりを持って学習が進められるように配慮する。

## ② 基礎・基本を確実に身に付けさせる指導と評価のポイント

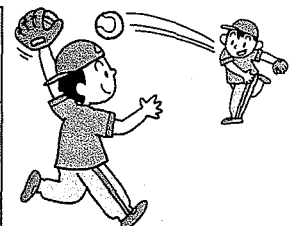
### Q19

基礎・基本を確実に身に付けさせる指導のポイントは何か。

**A** 学年により体力や運動能力の差があるので、それらを考慮した指導を進め、どの児童にも運動の特性に触れる楽しさや喜びが味わえるようにしましょう。

### ベースボール型ゲーム

|     | 児童の実現状況<br>(課題)            | 指導の工夫            |  |
|-----|----------------------------|------------------|--|
| 捕る  | ボールを怖がるため、しっかり捕ることができない。   | 用具の工夫            | ソフトテニスのボールやスポンジボールを使用                    |
| 投げる | ボールを遠くに(強く)投げることができない。     | 練習方法の工夫          | 大きいボールを大きな動作で投げさせながら、小さいボールに慣れさせる。       |
|     | 相手に向かって正確に投げることができない。      |                  | 近い距離のキャッチボールから少しずつ離れていく。                 |
| 打つ  | バットなどを使いボールをしっかり打つことができない。 | 用具の工夫<br>練習方法の工夫 | ティーを使って止まっているボールを打つ。<br>近くからトスされたボールを打つ。 |



ゆっくりした動作  
↓  
速い動作の練習

近い距離  
↓  
遠い距離の練習

本育

導入段階の指導の例

**児童相互に経験の差が見られる**

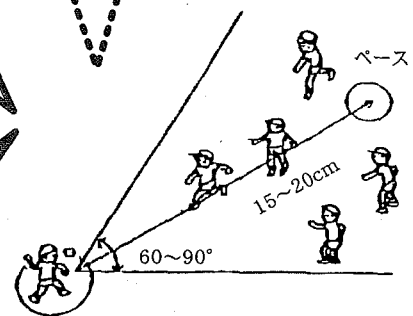
- ・ 1チーム 5~6人
- ・ 1ゲーム3回戦
- ・ 打者一巡で攻守交代
- ・ 自分でトスしたボールを手で打ち、ボールを捕った守備側より速くベースに着いたら1点

**ゲームに慣れてきた場合**

- ・ ピッチャーがトスしたボールを手で打つ。
- ・ 1塁線と3塁線の角度を広げ、守備範囲を広くする。

**個人差に配慮した特別ルール**

- ・ ベースを手前に設ける。
- ・ ボールを捕球しなくてもフライに触ればアウトとする。





一人一人やチームの「めあて」をしっかり持たせ、課題解決に取り組ませましょう。

**バスケットボール**

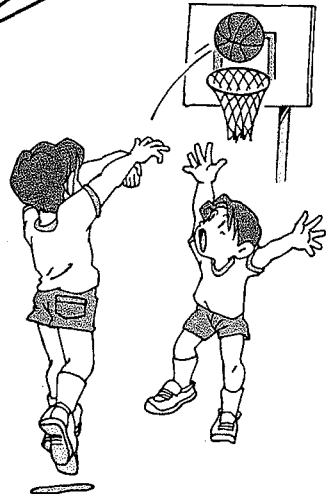
| 時間                    | 学 習 活 動   |
|-----------------------|---|
| 1<br>2                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション<br/>学習のねらいや内容、進め方について知り、学習の見通しを持つ</li> <li>○ スキルテスト</li> <li>○ グルーピング</li> <li>○ 試しのゲーム</li> </ul>   |
| 3<br>4<br>5<br>6<br>7 | <p>ねらい①</p> <p>ルールを決め、簡単な作戦を生かしてゲームを楽しむことができる。</p> <p>★1単位時間の学習の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備運動</li> <li>○ 慣れの運動      ボール遊び<br/>ドリブルランニング<br/>パス      ドリブルシュート<br/>ランニングシュート</li> <li>○ ドリルゲーム      パスゲーム<br/>3オン2 (ハーフコート)</li> <li>○ ゲーム①</li> <li>○ 作戦タイム 練習</li> <li>○ ゲーム②</li> <li>○ 整理運動とまとめ</li> </ul> |
| 8<br>9<br>10          | <p>ねらい②</p> <p>チームの特徴に応じた作戦を立てたり、ルールを工夫したりしてゲームを楽しむことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ パスアンドラン</li> <li>○ 速攻</li> <li>○ 3対3の攻防</li> </ul>  |
| 11<br>12              | <p>リーグ戦      これまでの学習を生かしてゲームを楽しむことができる</p> <p>ま と め</p>   |

一人一人の運動能力やチームの実態を把握します。

個人の技術練習中心  
練習の仕方を工夫  
個々の技能を高める

戦術的な練習  
ゲームの状況の解決の練習  
チームの技能を高める

毎時間の学習の方向性を示す共通課題の設定  
チームや一人一人の「めあて」を設定  
【 共 通 課 題 】  
「パスアンドランで攻めよう」  
【 児 童 の め あ て 】  
5年…パスを出したら前に走る  
6年…パス出をしたら空いてるスペースに走る



# A

異学年集団のよさを生かす指導の工夫や場の工夫をしましょう。

## 学習活動

ねらい②

チームの特徴に応じた作戦を立てたり、ルールを工夫したりしてゲームを楽しむことができる。

1 準備運動

2 本時の学習内容の確認

パスアンドランで攻めよう。

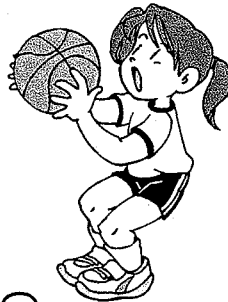
3 ドリルゲーム

パスゲーム

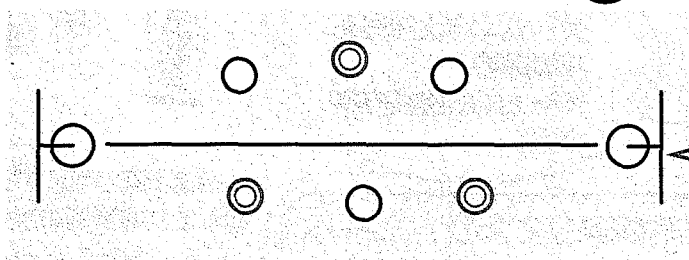
3オン2 (ハーフコート)

チェストパス

ランニングシュート



4 ゲーム①



5 作戦タイム

6 ゲーム②

7 まとめと整理運動

次のゲームに向けた作戦や練習法を考える

ゲーム観  
どんなゲームがしたい  
スピーディなゲーム

ゲーム構想  
どんなゲームをするのか  
短いパスをつなげる

ゲーム構想を達成するための戦術  
パスアンドラン

課題を明確にし、個々の能力からどの程度達成可能かを考えながら個々の「めあて」を決めて、意欲的に取り組ませましょう。

戦術を達成するための技術

グリッドコート

- ・ポジションの役割が明確
- ・みんながボールに触れることができる

ルールの工夫

・得点するシュートの楽しさを大切にした場合

5年・・・リングに当たったら2点

入ったら3点

6年・・・リングに当たったら1点

入ったら2点

(児童の技能に応じて点数を変えてもよい)

# Q20

## 評価規準の設定は、どのような点に注意すればよいでしょうか。



評価規準は、単元の指導事項や目標に照らして、できるだけ具体的な児童の姿で表します。

児童一人一人の実現状況を評価するために「どんなことが、どの程度できればよいか」を判断するよりどころとなるように設定します。

| 判断基準(判断の尺度)                                  |   | 評価規準   |
|--|---|--|
| 1<br>・<br>2                                  | <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで練習やゲームを楽しもうとする。</li> <li>・ ゲームや練習の仕方、準備、後片付けの約束を守ろうとする。</li> </ul> <p><b>【思考・判断】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の持っている技能がわかり、学習の見通しが持てる。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームを楽しむためのパスやドリブル、シュートの技能を身に付けている。</li> </ul>                | <p><b>【運動への関心・意欲・態度】</b></p> <p>チームに適した課題をもって進んで練習やゲームを楽しもうとする。ゲームや練習の仕方、準備や後片付けの約束を守ろうとする。</p> <p><b>【運動についての思考・判断】</b></p> <p>チームの特徴がわかり、作戦を立てたり、ルールを工夫したりしている。作戦を成功させるための練習をしている。自分の持っている技能がわかり学習の見通しを持てる。</p> <p><b>【運動の技能】</b></p> <p>ゲームを楽しむためのパスやドリブル、シュートの技能を身に付けている。</p>  |
| 3<br>・<br>4<br>・<br>5<br>・<br>6<br>・<br>7    | <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割を分担して準備や後片付けをしている。</li> <li>・ ルールを守りゲームをするとともに安全に留意している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単な作戦を考えたりしてゲームに生かしている。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを受けやすい位置に動いてもらい、状況に応じてパスやドリブルなどでボール運びができる。</li> </ul>        | <p>努力を要する状況の児童への支援の手立て</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームの一員である自覚を持たせ、自分の役割を果たすことがチームワークの向上につながることを指導。</li> <li>・ ルールやマナーを守らなければゲームが成立しないことを指導。</li> <li>・ 教師の積極的な声かけ。</li> </ul> <p><b>【思考・判断】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「具体的なめあて」の例を示し、選択させながら、自分のめあてを考えさせる。</li> <li>・ どうすれば勝てるのかの観点で考えさせ、動きを作るよう指導。</li> <li>・ 作戦の話合いに積極的に加わり、自分の役割をよく理解するよう指導。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールに慣れるよう、ドリブル、パスなどの練習時間を確保する。</li> <li>・ 空いているスペースに動くよう指導。</li> <li>・ ゲーム中に声かけをし周りの状況を見るよう指導。</li> </ul> |
| 8<br>・<br>9<br>・<br>10<br>・<br>11<br>・<br>12 | <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームの作戦をもとに、進んで楽しく練習やゲームに取り組んでいる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作戦を成功させるための練習方法を選んだり考えたりしている。</li> <li>・ 作戦をゲームに生かしている。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールを受けやすい位置に動いてもらい、状況に応じてパスやドリブル、シュートをして攻撃できる。</li> </ul> | <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームの一員である自覚を持たせ、自分の役割を果たすことがチームワークの向上につながることを指導。</li> <li>・ ルールやマナーを守らなければゲームが成立しないことを指導。</li> <li>・ 教師の積極的な声かけ。</li> </ul> <p><b>【思考・判断】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「具体的なめあて」の例を示し、選択させながら、自分のめあてを考えさせる。</li> <li>・ どうすれば勝てるのかの観点で考えさせ、動きを作るよう指導。</li> <li>・ 作戦の話合いに積極的に加わり、自分の役割をよく理解するよう指導。</li> </ul> <p><b>【技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールに慣れるよう、ドリブル、パスなどの練習時間を確保する。</li> <li>・ 空いているスペースに動くよう指導。</li> <li>・ ゲーム中に声かけをし周りの状況を見るよう指導。</li> </ul>                            |

## 編集委員

|                      |         |
|----------------------|---------|
| 盛岡教育事務所主任指導主事        | 佐々木 彩 子 |
| 盛岡教育事務所指導主事          | 三 上 聡   |
| 盛岡教育事務所指導主事          | 高 橋 眞 司 |
| 一関教育事務所指導主事兼保健体育主事   | 玉 山 勉   |
| 千厩教育事務所指導主事          | 鈴 木 敏 彦 |
| 陸前高田市教育委員会主任指導主事     | 田 村 敏 彦 |
| 遠野市立遠野小教諭            | 清 水 康 子 |
| 宮古教育事務所指導主事          | 中 村 説 子 |
| 総合教育センター研修主事         | 菊 池 美 香 |
| 学 校 教 育 課 長          | 石 崎 宏 明 |
| 学校教育課首席指導主事兼課長補佐     | 吉 田 道 一 |
| 学校教育課主任指導主事          | 小笠原 洋 子 |
| 学 校 教 育 課 指 導 主 事    | 外 山 敏   |
| 学 校 教 育 課 指 導 主 事    | 佐 藤 智 一 |
| スポーツ健康課学校教育課主任保健体育主事 | 千 葉 和 寿 |
| 学 校 教 育 課 指 導 主 事    | 桑 原 良 幸 |

複式指導資料第24集（平成15年度）

### 岩手の

### 小規模・複式指導ハンドブック

—生活・音楽・図工・家庭・体育—

平成16年1月9日発行

岩手県教育委員会事務局学校教育課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

TEL 019-629-6139